

昭和9年(1934)設立

財務省許可 東京法人 昭和経済会

昭和22年11月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1回1日発行)  
昭和25年10月19日 日本国政府認定特別出版業者登録第1797号

第61巻8号 22年11月

国会図書館永久保存

# 昭和経済

Manager Association of Japan

〔時局論壇〕『素材』『サービス』に可能性  
〔時局論壇〕これが中国の現実だ

関谷 満博  
古谷 浩一



愛馬

## Showa Economic Study Association 企業家・経営者団体

財務省本省許可

社団法人 **昭和経済会**

事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>  
e-mail info@showa-ec.or.jp



に傷けば角が立つ。大豆の盛り付けや、知り合は文句は無いのが世の中である。夏目漱石の、うつていてれば心が立つ。かくは全てそを加えると、運んだ結果が出てくる。原理を心に静かに物を盛って、規定差して平らに引いていける隙がでます。つまり一升杯の半割セントを三回、四回と振り動かすと、ほぼ八十。一斗のわけではない。当たり前である。別段ニコートンが言つてみると、いかん板端が判斷がどつてしまふのである。

言えば全て試行錯謬の繰り返しであり、過程で反映して、世の中の現象も支離滅裂で、より事らず、確たるものでないが、それを見事論評しても、指點も定かでないが、軸足も定まっている世間一般の様相だ。これまでの一ヶ月近くからかいつひつかつとしている。つまり次郎兵衛のよひかづかひかづかしだれで正しような気がした。正解だったと判斷しかし、一ヶ月が経過して考えてみると、そちに結論を出すわけである。

突撃が生まれてきて即ち、試行錯謬があつての見方がそれぞれあつて、一つの事柄にそれがややこしい。思つて人の解釈を採り、その通りに立つて、いつて率に扱つておれば、金ては勘である。精査、吟味したものではがく、一点だからといつて、複雑怪奇な事象につけていはる。直感的なので、複雑怪奇な事象につけていはる。勿論、乗せるべき原稿は整つて書いてあるが、いつも通りその場限りの即席である。この発信は、短評に終り、当たり障りのないもの

所までがとほじたへない。しかし、よく考え察の牙城が揺らいでいるといふが、まさか裁判で喜んだのも束の間、高裁での逆転敗訴になつたり、これには驚いて自分の耳を疑つた。検査で出采す裁判沙汰になつて、一审の全面勝利は知人の相談を受けて立った案件で、話して猛暑の夏で本邦の時が過ぎたりしていつた。身朝鮮の後繼者に向ふのがでてきたとき、記録的尖閣諸島での日中の緊迫的対立があつたり、北リ、村木元局長のテッヂチ上げ事件があつた周囲の現象で、昔だ、小沢だの問題があつたを図るにとても大切であるからである。

感情の動搖や、偏見、先入観を鎮め、軌道修正できた。視点を確たるものとするには、自分の遙しにいたり、心の陶冶につとめながらといふが、古い事物証に心するといふが肝要だと思想があった。そつした時には、現象に目を転じないで、古典的な物証に心するといふが肝要だと思想があった。

結果、ホームペーパーで、九月の理事長室からも湧いていく。すると対象に対して、その気、その概がどうもな話になつてしまつが、チャレジジマサ指向性を帯びてへるといつてしてしまえば、身も蓋されまだが、(それと年齢的に次第にそつたチャレジ精神の欠如と云われてしまえば)そつた慎重にしてきて、自らリスクを負つて突撃する粉が振りかかつていて、なかなか限らない。それはといつて場げ足を取られて、自分の身に火にならいでいる。迂闊にトライするど、飛んでなくして物を考え、物を書いていくのか判らなくなるので、とにかく視点をきおいて、しかも変な光景が余りにも目掛へるし、動き、しかも変な光景が

## 支離滅裂な世の中

佐々木誠吾

卷頭言

に転じない限り、日本の経済の回復は不可能で  
していく由々しき問題である。この一つが上昇  
世界が期待できず、証券会社の開鑓が水面下で続  
いることである。同時に株価の下落であり、上  
重要課題である。一つには地価の下落が続いて  
今、日本の国内では依然としてテフロンが  
いたい。

当局の努力で、極力流逝しないようにしてもら  
リスクが生じつつあると云う馬鹿げた風潮が、  
最近、中国に対し、民間経済外交もカーリー  
荒れ狂つてもらつては、内外は困惑してしまいう。  
黄河の流れではないが、龍虎の如くわざがある。日本には、人の噂も七十五日と言  
時間稼ぎに徹して、沈静化に勤めていたのだから  
ない。当局も大歎だらうが、事態を冷静に見て、  
に流れが変わつてへるので警戒しなければなら  
であるが、眺ね上がり分子に撃たれると一氣  
する政治組織は、それなりの理由があつての事  
政治の一党独裁を以て、十三億の国民を統治

マイヌは無い。  
いましがたう。中國の将来にとつて、これほど  
いいといふ。世界から恐怖の目を持つて見られて  
あるし、時代錯誤もはなはだしいといふはかな  
行為が公然と行われるようでは困つた事態で  
いてるから、例えば領土問題で帝國主義的侵略  
進んで、政治的にも相互依存関係が強まつてき  
ある。それに経済の国際化、グローバル化が  
ひいては中国自身に跳ね返つてくる危険性が  
くくなつて暴走されても世界経済を混乱させ  
やや破竹の勢いで進撃中だが、ブレーキが利か  
ラードを思い出させた。中国は経済大国として今  
しろと感きり立つていた姿は、ナチスのヒット  
を振り上げて日本が逮捕した船長を即時釈放  
かな温家宝首相が、国連総会の別席で、こし  
決しようとするのは如何なものだらうか。穏や  
問題で、力による恫喝的行為で、外交関係を解  
諸国と世界に対してくるとは思わないが、領土

暴力革命が、まさか今の中国に抬头して、近隣  
産党の政治・経済思想の実現する手段としての  
幽靈である」とある。夢物語りと思つていた共  
マルクスが書いた共産等宣言がある。冒頭に  
ヨーロッパに幽靈が現れた。共産主義という  
カツカツにお互いの頭の中を、静かになつて落ち着けば、  
ロスだったことにとも気が付いてくる。  
でいたのが馬鹿なくらいに見えてきて、時間の  
カツカツに静かになつて止まり、正常に戻つ  
ててくる。日中問題も冷靜になつて落ち着けば、  
揺さぶるわけではないが、現象は時間が経つ  
してはいけないのである。それも時と場合によ  
りである。物を入れた後、机や袋を揺すつたり  
きや、売りに出す場合によく注意してやつついた  
い米屋の丁稚がいた。昔、米や麦を供出すると  
早く袋や、俵に詰めなければならぬ。目と比べ  
米の俵詰めは、人の目を欺いて判らぬよう

内需拡大、地方経済の回復につなげると構成。対ドルでは試算基準を人六円で八円、対ドル・円相場は大きくなる結果となつたが、概ね良好な収益につながつた。

門的に上がり、全体的には悲喜入りである。猛暑で被害も出たが、逆に経済効果も部が四倍、自動車が三倍(前年同期比)となつて四七五社が增收増益となつた。業種別では電機過日の日経の集計によると、全体の半数近くシヨツク前の九八%までに達した。

かれたいどが主な理由である。利益額はリーマン合理化策が効を奏して、企業の体质改善も大きな原動力となつていて。同時に企業の徹底化新興国の需要の拡大と、歐米での需要回復も大に比べ八割以上も増加している。この背景には、論評しているように、上場企業の収益回復が続前々号の昭和経済並びにホームページにも引き続き堅調な企業業績

資源に乏しい我が國に於いて、これを大いに活用して活性化をはかる絶好のチャンスである。資源が必要がある。特にエネルギー資源、原材料、利潤、メリットを全面に押し出し奮起をうなぐ企業収益の拡大、恩恵に浴している企業も沢山ある。この際、円高が日本の企業と経済に齎されるといふだが、一方に於いて、円高を利用することは毎日のやうに悉くこれらを例挙、強調つけた要である。

円高の日本経済に対するマイナス要因については毎日のやうに悉くそれを列挙、強調づけられた合理化策が効を奏して、企業の体质改善も必要な原動力となつていて。同時に企業の徹底化新興国の需要の拡大と、歐米での需要回復も大に比べ八割以上も増加している。この背景には、論評しているように、上場企業の収益回復が続前々号の昭和経済並びにホームページにも引き続き堅調な企業業績

な転換が必要である。民主党に期待したが、前されていないのである。発想の新規、且つ大胆でいい。即ち、当時から依然として改善がなされたり、あの時の政策の失敗がいまに続規制であり、あの時の政策の失敗がいまに続二年が始まった不動産の融資に対する強烈なでもないし、リーマンシヨツクでもない。平成不景気から脱出できなのは、石油シヨツク目にとつては最大の魅力である。

豊かな土地とは、日本のよいうな民主主義の政治体制が続いていることであり、多くの人たちに納得いく、平和主義、自由主義と表裏一体の姿である。国の法治性と安全性が、外国人の腐敗化している経済構造の実体に早く気づき、反吸収されていってはじまつだらう。老朽化し、陳続いて、他国にどんどんと追い越され、早晚、新たな組織を撤廃し、有効な経済政策を打ち出さないといふことは、あなた任せの旧態然の状態がないといふことは、日本は、その場限りの人気取り政策では櫻口を張るような、その場限りの人気膏薬で傷口を癒しがた。バラマキ予算みいたい思想の転換である。

国土を潤すとは、土地の稀少性を以て附加值をあげ、流动性を高め、資産価値の拡大をはいて意味が成立する。

例踏襲でリスクを負おうといしない。相談わざく峠を越した感じであるが、今度は政策面での発展の権力闘争につつを抜かしていく。よくやく取り政策では櫻口を張るような、その場限りの人気膏薬で傷口を癒しがた。バラマキ予算みいたい思想の転換である。

豊かな家庭とは、家庭がついて思い出す。豊かな家庭とは、家庭がついて意味が成立する。

税金の無駄を省き、行政の膨張を食い止めて縮小し、小さな政府をめざさなければいけない。民衆が全力を捧げて改革に臨んでいい。日に、国民党が注目している「事業仕分け」が、十三兆円超と云われる特別会計のうちの殆どが、既得権と称して、いかがわしい金の使い道に、闇から闇に使いまわされていく。大鉛を降ろして一気に廢止しても国民党は困らないし、必要な事業は早い話、民間に分けてその分譲を喚起して国民経済の活性化に役立てたほうが国家百年の計に沿うものである。河川工事に絡めて、十三兆円の予算を計上し十一年たつた今も事業は遅々として進んでおらず、いまのままのテンポでいくと四百年かかるといつ馬鹿げた計算がはじかれた。これはイカサマとしか受け取れまい。驚くべきはもつと厳密に精査していく実体を暴き、巨大な怪物を一举に爆破するしかければ、全ては氷山の一角である。この恐るべき実体を晒す、まさに講師を務めていたとき、札幌展に活躍する当会の会員、太平洋興発株式会社高木新一郎先生は、現在、野村證券株式会社の顧問として出かけていたときました。

高木先生は、多くの企業再生に棘の多い問題を務めています。産業再生機構の委員長の要職につき、ハブル経済の崩壊で不況に陥った大型企業の再生に取り組み、多くの企業再生に棘の多い問題を古く、以て日本経済の回復に大きな躍進をさなえて多大な貢献を果たされました。

弁護士界から任官第一号の裁判官に就任し、後、山形、新潟地方裁判所の所長を務め高裁判事に戻り、斯会に異彩を放つてきています。退任後、弁護士に復帰、大型倒産事件を次々に処理し、特に脳卒生命の四兆六〇〇億の債務処理を電光石火に解決したことは未だに記憶に新しいところです。私の知る限りですが、朋友である氏の生い立ちを語ると、その豪放磊落と、正義感溢れる歩みの方は多くの人々に、とりわけ改革は、革命である。

去年九月十日、札幌ラゾーノホールにて当会主催の講演親睦会が行われました。古くから剣路の地元に強固な地盤を持つて地方経済の発

札幌講演親睦会開催。

表現だが革命でしかない。最早、いつで来れ荷う国民の手に戻すべきである。これは乱暴なこれまできた埋蔵金であり、この財源を国民経済をそれが日本の明治維新前から脈々として堆積させて、全面廃止で行くべきである。これで特別会計は各省庁の勝手をわまるお手盛り子身中の虫である。

が日本歩の変化を遂げて居るときに、明治も古く遠くなりすぎりといひであります。旧態も日本に本拠地を移していくことと同じである。空なるに財政の活性化につながるといつて、大胆な発想の転換を遂へいた。企業が税金の安いことが益々連れを取つていくばかりである。世の中洞化を止めには、この方策が適切だ。そして

津雄さんが以前の当会の講演会で提案していた一つにも、例えば夕張市などは、移住してきた住民に対しには相続税他、非課税とする、とすれば金持ちがどつと流入してきて立ちどつて地方経済の疲弊は、目をおおへくものがありません。例えは夕張市などは、移住していながらも、いつした状況が長く続いてきて、もはば治療しがたい段階にきていて。経済評論家の三原一寸とも、例えは夕張市などは、移住してい

に国民の根柢の啓蒙に政、官、民一体となつて経済フレーム・ワーカーの構築を、できるだけ迅速に構へべきである。この点についでいる経済フレーム・ワーカーの構築を、構造的な全体にインバクトを与える構図を描き、構造的な高の恩恵を享受する企業に目を向け、円高の被害を殊更に取り上げるばかりでははない。円高の被害を享受する企業に目を向け、図を鮮明に描いて政策的に実施すべきである。

諸君が益々奮起して、日本のため、ひいては広光を放げかけるもので、いれをもつて若い学徒研究、技術立国日本の若者たちに、一縷の希望の出します。

お一人のノベル賞受賞の知らせは、学術研究の商品に於いても欠かせない物質を多く作りました。医学の分野でも然り、日常使われてな産業分野で広く応用、活用されるようになります。容易に結合させたことで、いれによつて、多様な反応とは、炭素原子同士をパラジウムを使つて功績として注目されるクロスカッブリングでもあります。

どちらもノベル賞候補に上がつてきました。おあります。今回受賞した根岸、鈴木両博士も今研究所を創設、幾多の研究員を輩出してきて九七九年にノベル化学賞を受賞してブラン博士は一貫通り理由となりました。ブラン博士は一貫共通した研究と成果はともに今回の受賞の対

広い知識と、豊かな情操と、人間倫理に役立つて世に臨めば、他の勉強によるよりも効果的です。私はいつも書いているのですが、これ一冊を人にあります。学生諸君や、ビジネスマンに文字通り、日本の近代史を綴つてきただ生きた証立つてきて、七七年が過ぎ去りました。昭和経済は、各界の第一線で活躍する著名な先生方の時局論壇を始め、講演記録や、会員各氏の情報誌を掲載し、相互の啓発・啓蒙に大いに役立つて他の追随を許さぬものとの思つてゐる月刊誌・昭和経済にて掲載する予定であります。ところで札幌の講演会での模様についではあります。

学士館での授与式には私も参列しました。日本を発表し活躍した諸君たちに贈られます。日本ために設けられたものです。毎年、優秀な論文を発表した学兄です。波乱万丈、絶余曲折を経、若きら努力研鑽、一匹狼の武闘派を以て世を渡つてからいろいろの天才の出世コースを捲けて、ひたすらの朋友ですが、唯々諾々の道を嫌い、世に言ないかと思つております。蓋し、中学校時代から若い人たちに多くの教訓を与えるものはけ

ラウン博士のもとで研究を重ねました。一人の北大助教授を経て一九六三年に渡米、同じくブランさんは八十三歳、北大理学部を卒業後、鈴木さんは研究を続けました。その気概がどうも賞を授与した著名な故ブラン博士のもとで博士号を取得しました。かつてのノベル化学のうちに研究のため渡米へ。シルベニア大学で工大卒業後一九五八年に株式会社帝人に入社、根岸さんは旧滿州で生まれで七十五才、東京のどこが決まりました。

人の化学者一人に、ノベル化学賞が授与され明るいニースが飛び込んできました。日本ノベル化学賞 根岸、鈴木両博士に

十月四日

世街道の秘伝を見つけていると申します。これらです。そして学と修業を以て世に臨み、出でます。計り知れぬものがあると伝えておると

会なる財团法人の研究機関があります。中す。東京大学の法学院の中にも民事紛争処理研究いますが、全ては法律に関する専門書ばかりで多くの論文を発表、沢山の著書を発刊されて多々の私に付けていたのです。それから新聞の人気欄である私の履歴書に、それが経在新聞の見識と評価は間違ひありません。日本を得て他の追随を許さぬものとの思つてゐる聞の道は、時に豪快そのものであり、時に緩急佳境に至り人生の王道を歩んできた彼の苦るところで邁進してきました。

頃は艱難辛苦耐えて、思いを費さき己を研磨すときた学兄です。波乱万丈、絶余曲折を経、若きら努力研鑽、一匹狼の武闘派を以て世を渡つてからいろいろの天才の出世コースを捲けて、ひたすらの朋友ですが、唯々諾々の道を嫌い、世に言ないかと思つております。蓋し、中学校時代から若い人たちに多くの教訓を与えるものはけ

り構わぬの危険な作業がおこなわれて居るものが殆どであります。尻を叩かれてふり散れておらず、設備も老朽化して使い道のない稼ぎはくついていた殘骸であり、坑道の整備もなに行われています。そうした鉱山は、今までになつて、閉山になつていた日鉱山の再開が発不採算部門の部門だつた日鉱山の採掘が可能

資源の国際的価格の高騰も手伝つて、今まで

### 頻発する炭鉱、鉱山事故

发掘技術が遅れています。各地の現場で事の発掘作業が盛んに行われてきていますが、国内の猛烈な石炭需要に追いつくために、石炭以前から度々報道されていっていますが、中国との報道の記事が朝日新聞に載つていました。閉じ込められた抗夫の一十六人が死亡しました。河南省の炭鉱で、今度はガス漏れ事故があつた。新華社通信によると十六日午前六時ころ、中

必要あります。これまでの悲劇が生じました。平時の怠らぬ注意と、改善がつかります。影で今もどこかで同じような悲劇が生じます。危うく難を逃れて、救助されました。盤事故も起つて起きた人災であります。多くの犠牲者が出ていて、私は大関心を払つてしまります。これらでは日頃依然の作業を統け、貧しい労働者が多かれ少なかれ現場の状況です。そつた

恵みと喜びが授からんことを！ 十月十八日 患者たちも、ひとしへ神のからの大いなる救いと業の人たちも、これを見守つている全世界の人の救出を待ち望んでいる地下の抗夫たち、救出

見守っています。どうか神さま、一人ひとりを守りへばり、全員が無事に地上に救出され

が搬入されて、地下に生存している抗夫を一人日本にも一本のハイドから救出用のカプセル苦闘は計り知れません。そしてもししかすると今うに、地上から連絡の耐えたら七日間の不安と子は意外と冷静な喜びに伝わつてきました。思地上との連絡が取れて彼らの安堵と喜びの様場に届いて、そのうちの一本がようやく地下の現れます。地上から三本の救出用のハイドがいつ生き埋めになつた三十三人の抗夫の懸命な救出作戦が連日連夜、突貫工事で進められています。事故現場では、地下六一〇メートルの坑道起きで今日で六十九日目が過ぎ去つてしまつています。事故現場では、地下六一〇メートルの坑道チリの落盤事故

して止みません。十月十日  
く、学術、研究に邁進して行かれるいざを期待すべ世界の人々の救済と向上にために恩すべ

戦が実行に移されています。我々は

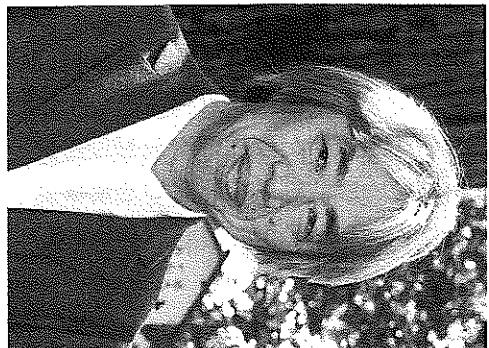
報道によると聞くと聞くと聞く抗夫たちの救出大作真骨頂を見る思いがします。

せんか。この陽気な場面こそ、正に人間贊歌のまろか、六百メートル地下の家族に向かって手を振りつたりして笑つて励ましてはあります。しかしようか。地上で迎える家族たちも泣くつていている。団結して、恐怖と不安に立ち向かつてはあります。一刻の猶予も許されませんが、危機に直面し

す。

う。被災者の幸運と、神の救いを祈るばかりでなく、心身を思つとき、あたかも一人ひとりの上に確かな神さまの靈が乗り移つてはいるのです。精神は、感動と賞賛の叫びを上げて励ましの言葉をかけずにはいられません。抗夫たちの強靭不安と苦痛と危険に耐えてから七十日近く、それません。地下に閉ざされてから七十七日近く、その上に引き上げる作業が始まるともしゃれ

## 一橋大學教授 関 满博



に可能性

『素材』『サービス』

## 「時局論壇」

講題	課題山積——日本の将来
講師	渡辺 喜美氏 みんなの党代表 衆議院議員
日時	十二月十六日(木) 午後六時
会場	八重洲富士屋ホテル
各位へ出席をお待ち致しております	昭和経済会事務局

身の回りで使う日用品の大半が中国製になつて久しい。また、最近目につくつて、IT(情報技術)関連のロードマップ製品のいくつかが、私たちのなんじんでいた台湾企業の大陸進出手場製から、いつの間にか中国ローカル企業製のものに置き換わつてゐる。

発光ダイオード(LED)モジュールやバッテリーパック、ACアダプターなどを生産する中国ローカル企業に「ライバル企業はどうか」と尋ねると、台湾企業の名前は出でない。いざれも中国ローカル企業の名前があつてゐる。

他方、日本の地方に残つてゐる比較的雇用吸収力のある工場を訪れると、派遣人材、日本系南米人、中国人研修生がかなりの比重を占めている。こうした人材の活用はこれから規制される。

故の多発が心配されております。犠牲になれる人たちが多く、いすれも貧しい出稼ぎの人たちが大半です。経済の発展に寄与している人たちの本当の姿と現実に目を向けたときに、表面的な繁栄に浮かれて、利益追求に翻弄している人たちが、太いに反省しなければならないのはないでしょうか。

特に経済大国としての威厳と貢献を以て、これが本当の実力でも云いましょうか、世界に寄与しなければならない中国にとっては、内外に正しい報道を発信し、国内の噴出する幾多の矛盾を摘出治療していくなければならないと思ひます。細事にいたわらず、大道につくめるよう、大いに期待いたします。

十月十八日

周辺で多様な「サービス」が求められる。あるが人がどの手に渡り消費されていく。そして、それが「加工」組み立て「開発」にかかる。「開発」されたものを具体化する行為になります。

世の中には鉱物資源、農林水産物資源などがあるが、それらの素材だけで人類の役に立つもののは少ない。その「素材」を人類の役に立つものにしていったのが「開発」といってもよい。したがって、彼らの行為が「開発」といってもよい。

展モデルとは異なった方が求められていく場合、二〇世紀後半の日本の産業を彩ったたいていとして、次の時代の産業化をイメージしてい

を高めながら何かより重要なである。「力」を高める教育なども必要だねう。人の「力」化社会と環境問題に对应できる考え方とスキルとして、農林水産業およびその周辺や、高齢化

ヨーロッパなどでは人も国境を越えていく場合、資金、工場、雇用が他国に流れしていく場合、

高はいうじた流れやひに決定的なものにする。アジア、中国に流出していっているのである。今回の円型の「モノづくり産業」で大きな雇用を生み出しが生じない。これから日本では、従来工場でも、わずか一〇〇～三〇〇人はどの雇用は従業員三〇〇〇人規模と思われる大きさの模工場が建設されているが、従来のイメージでまた、近年、大阪湾岸などから多くの大企業難しく。

の大学生の世代は一学年一二〇万～一三〇万人ほど全員が職に就くことができた。他方、最近か一七〇万人もの人間がいた。それでもなんとか筆者のような団塊の世代は一学年の同期にな

あるいは今後、成熟化する国内の新たな産業的であることが求められるであろう。

世界のどこで働き、暮らしていけばいいのかの教育が求められています。これらの世代は、育、社会に対する關注を深めていくため日本現状では中国語、英語、IT教育、そして、とりわけ若者の生きる力を養うための教策を実施した。

に「地域間移動」を円滑に進めるための住政「職種間移動」を促す徹底した職業訓練、さらには政府は十分な時間と所得補償を用意して、また、地域的な配置も変わっています。北

おり、また、産業構造が変われば必要なスキルは変わることになった。これに対し、北欧諸国は「労働市場政策」で乗り切った。産業構造調整の時を迎えたところだが、北欧が大き

かつて四〇年以上前のところだが、北欧が大きな市場だけが開けられていました。資本と企業は一気に海を越えるが、労働

ないもの、形のないものに向かい続けるしか進んでいます。ならば、「日本は」まだ、世の中に誰かがやつたのか、「とりあえず」世の中にありますのは、自分たちであります。驚嘆の念を感じ得ない。彼は「です」での世を見続けてきた身からすると、その發展がより現場の四半世紀ほど、中国のモノづくりの現場

は、そもそも時間の問題のようなら気分でせられる。中国のモノづくりの現場に立つこと、これが中国の「メード」の製品は残るとの議論がある。ただし、日本国内は「オランダ」「オランダ」とはまつていへ。

を願つていて以上、うして流れますます強い。東アジアの各國地域がいずれも経済発展ある。中国を中心とする大きな産業構造変化の中に止められると。明らかに工業製品の多くは、中国に工業製品の多くは低い人材に頼つていて、その場合、労働コストが

み込む私たちは、そうしていざに積極的になれば世界でも最先端の成熟社会、高齢化社会に踏じていくよに間違。

日本の産業の一十一世紀のあり方が見え隠れと「消費」「サービス」が結びついたことに「開発」と「素材」が必要であろ。ついに「素材」開発する「消費」「サービス」に新たな可能性を求める、これまで得意と思いついた「加工」組み立てから飛躍し、両脇の「素材」開発」、「これまで得意と思いついた「加工」組み立て立ちちすぐんでしる。私たちに向かうべきは、くしくしてして内向きになり、図の真ん中の所がうとしている中国企業の迫力に驚愕(きよきよ)が現れる日本企業の多くは、限りなくコスト

を促したのかもしない。のではなか。マニアカル社会がそつたる質であつた。だが、私たちはそれを志向していくのがである。いのちが私たちの最大の特徴である。相手の立場に立ち、いろいろを込めていくべきだ。

「サービス」という概念は実際に幅が広く奥深いものとなり、その歴史、経験、豊かなことが強く働く領域で繋がる「サービス」となづ。この部分は経済的な「開発」と「消費」べきは図の両端の「素材」開発」と「消費」のような枠組みに対して、日本企業の向かうである。

み立て」の世界はそのよくなつていてい。世の中誰も勝てない。すでに「加工」組み立てで中国に進出して、まず勝つことは難しい。その勢いは圧倒的である。日本企業が対抗する。そして九〇年代に入ると、いの「加工」組み立ての領域に中国が一気に参入していく。とであつた。

きた。ただし、それは一九〇年ほどので品質の良いモノ」を供給し、世界から称賛されて品ぞその極致である。日本企業は「安く買って、真ん中に位置する「加工」組み立て」にい

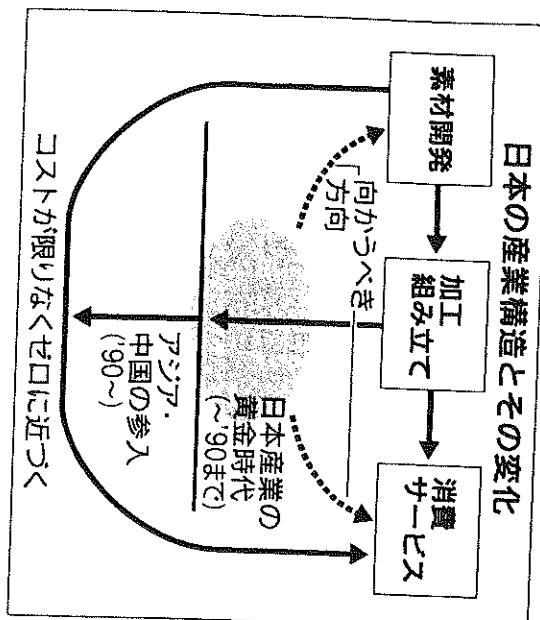
「サービス」なのであつた。世界が称賛していたのは「日本のサービス」「」とあつた。だから「中国の価格」「日見上げると「わ」が社の目標が掲げてあつた。以前、ある躍動する中国企業を訪れた時、ふ

◇◇◇ ◇◇◇

るう。

あり、私たちの未来に対する「サービス」という。リサイクルなども「消費」の新しい形で加え、人びとを「感動」させていくためにまた、「サービス」はモノに新たな価値を付

科学技術教育と产学連携の必要性は高い。活躍できる場面である。そつた意味から、握られているが、それに新たな付加価値をつけられる。自然資源の多くはすでに欧米や産出国に比べて少ないが、最後は「素材」が勝負についた。



いは「サービス」はいの一連の流れの全体に深くかかわってへる。「モノ」はいのつながりをプロセスをたどり、私たちの手に届く。

(成城大学博士。専門は地域産業論)



にじていてほしいである。  
「来」にも大きく貢献し、世界の人びとを「幸せ」  
かるかどうかが問われている。それは人類の「未

## これが中国の現実だ

### 「時局論壇」

感をみそに、民主化を求める声はじわりと広がる。  
だが、体制を揺るがしかねないとの当局の危機  
感をもって、劉曉波氏のノーベル和平賞受賞が国内の民主化  
の動きを勢いづけることによっての措置だ。  
劉曉波氏のノーベル和平賞受賞が国内の民主化  
を求める人たちへの監視を強めているのは、劉  
曉波氏のノーベル和平賞受賞が国内の民主化  
を取らざりまどめた雑誌編集者、鉄流氏ら民主化を  
中国当局が「言論の自由」などを求める書簡

北京にて 古谷浩一氏

民主化めぐる取材 繁忙の舞台裏

古谷 浩一  
朝日新聞記者

難しくなったので、自宅に来てくれた。「当局の監視が厳しい。分かるだろ。外出は  
男性はそう短く言って電話を切つた。番号表  
示にかけ直すと女性が出て、言った。」「これ

中国の民主活動家、劉曉波氏のノーベル平  
公用電話です」

実じして、今は共産党が政権を維持している。書簡には劉曉波氏の「も盛り込もう」との声があつたが、結局は見送られた。鉄氏は「現

も公開した。

三日後、約一千通を関係者に送り、ネット上で定してあると訴える内容だ。劉氏の受賞決定の府は言論や集会などの自由を定める憲法を否元秘書で党组織部副部長だった李銳氏ら老幹今夏、人民日报社長の胡錦偉氏や毛沢東の度々受けてきた。

ながら、民主化雑誌を出版し、当局の没収を長年を過ごした。コソボルタント社会を経営した政治運動で反革命分子とされ、労働改造所で

た鉄氏はそう語った。本名は黃沢榮。五〇年代当局の規制をかいくぐって電話で話を聞け

報道をすべし。政府や党は引き締めをやり過

強い不満を持っている。記者が自由に取材し

いに来たのか、などと尋ねられた。返答を拒むた。ハスボートと記者証を確認され、だれに会い。

「外国人の方ですね。身分証を見せてください

警察官一人が姿を現した。数分後、制服警

氏に電話をかけたが通じない。住宅地の門で警備員に止められてしまった。鉄指示通り、郊外の自宅に向かった。しかし、

は明らかだった。

「自然な形で会おうとの話だった。が、直前にかかるべきだったのがこの電話だった。男性は「鉄さん

は「秘密書」とだけ言った。盗聴を恐れていた

鉄氏が通う北京市内のスポーツセンターで

の接触も困難を極めた。

国共产党の元幹部や二十三人の取りまとめを担つた民主派雑誌編集者、鉄流氏（七十七）へ

「言論の自由」を求める公開書簡を出した中

人々への当局の監視が厳しさを増していく。

る人は続く。十六日、大学教授ら中國の知識人それでも、民主化を求めて声を上げようとする。いずれも法的な根拠ははつきりしない。

に出てくるときも二人の警察関係者が同行するとなればならぬ」との通知を受けた。買い物

著名な人権活動家、余傑氏（三十六）は五十

歳電話を当局に壊された「などと語る。

に行くのも、警察関係者がつつきつたりだ」携

限される。劉未妻に近い複数の弁護士も「公判

の自宅で軟禁状態に置かれ、外部との接觸が制

策はこうした方向性とは正反対のものだ。

しかし、受賞決定後、当局がとった引き締め

姿勢も見せていた。

政治改革の推進が必要だ」（温家宝首相）との

中国政府は最近、「経済改革だけではなく、政

策を考えた」。

この中でいかに民主化を進めるかといふこと

望の声だよ。政府高官の腐敗は深刻だ。市民は

「我々が求めるのは『言論の自由』。その希

## 監視下「言論の自由」

ながら、しめらへば大丈夫だ」。鉄氏だった。

が出た。なりきつてみ声だ。」（）の電話

メモセージが入った。すぐとにかく別の男性

携帯電話に電話番号だけが書かれたショット

あきらめて住宅地を離れると、しごへりへして

れだ。名乗る男性的の声だった。短く言うと、電話は切

れが中国の現実だ。分かって欲しい」。秘書をこ

な。正面倒なことになつた。今は会えない。こ

なお門の外で待つていると携帯電話が鳴つ

ながら帰れ」と言われた。

ない。取材は認められない。連絡がつかないの

と、「これから先是住民の許可がなければ入れ

○司会 では今からお食事も御用意させて乾杯！。

さん、元気に御唱和をお願いいたします。皆さんは、ふつ飛ばして、乾杯したいと思いません。皆からかいのだからといふのです。そういう不景気には、いかにこれから先も、どうあるかちょっとわざと見えていたのは未だもの感じであります。景気の動きは、つづけてきたなどと言われておりますが、ハキリは明るさが射してきて、数字的には少しよくなっています。振り返ってみると、世の中は依然として余り景気がよろしくないのです。一部であります。振り返ってみると、世の中は依然として、久しかりに大学当時の講義を思い出しながらなかなか解釈できないうちでもあります。しかし、久しかりに大學当時の講義を思い出しながらも疎い事柄でもあります。難しくて、とにかく事柄であります。難しくて、ついでに話を頂きましたが、どういひます。知識普段余り気にもしないでいて、只今は貴重なお話を頂きました。私たちには、大事な事柄でありますから、林先生どうもありがとうございましたといふ



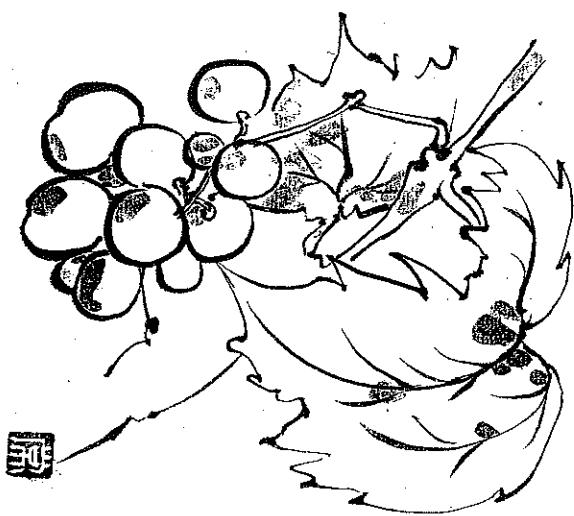
林 良造

元・経済産業省 経済産業局長

東京大学 教授

## 民主党政権と日本の課題

作品 関根常雄



のなかで、「あれしへ西つて、いもんだが」「中國の人々は爆竹を鳴らして喜んだりはしてない。でも、みんな、心賞につけ言つた。」中國の人々は劉曉波氏の受刑された方がいい」としながら、劉曉波氏は「もうそろそろ一〇分ほど通話の後、鉄氏は」もつそろそろ示す署名も五〇〇人を超えていく。  
「誤った決定」(馬朝旭・外務省報道局長)と位置づけた受賞に対し、公然と「正しい決定だ」と言い放った。鉄氏らの公開書簡に同意を中国政府が「誤った決定」(馬朝旭・外務省報道局長)以上がネット上に声明を発表。中国政

る、日本はす一〇と二〇人でやつたのです  
も、職員の数はアメリカが三、〇〇〇人の比  
によくなじがいえてきます。その機関について  
に、薬の審査や承認の機関についても全く同じ  
他方で、先ほじちよつと申し上げました

しておつづいておなむわけですね。  
実は、もうと重要なことは問題の核心をゆがめ  
率的にも全く大変な無駄であるばかりでなく、  
必要でないといらに数が多いといつては、効  
小人居して不善をなすと言いますけれども、  
す。そういう意味で数が多過ぎるといつては、  
やあうするかを決める、といつてあります。  
さて、二人目が、今度はその一つを見ながら  
よつとしたりする。そいつへ参入目の人人が出て  
見ていて無理やなり問題の発生源を見つけ  
あるか、あんないどがあるかなと、実際に複雑  
であっても、それやあつたやんなんといふこと  
つてあると、そつするひとのへん簡単なこと  
そんな内容に変つておきます。一人で相談し  
あ

○司会　ありがとうございます。林先生、な  
うので、みるべくお願いします。  
もう少し、より具体的にお聞きしたいと思  
うと思つのですが、そういうた政策提言の方面を  
官僚機構を、民主党が言つていてますに、公務  
員を、二割ぐらい削減したらいいやしない  
か。本當は先ず問題意識を鮮明にするために  
のですと、日本経済がどうやつたらなかなか難し  
いわけであります。

の仕事は、毎日そつたいて追及して  
見て、政策を考え実行していくとなると、我々  
つてわかるけですか、そしてマクロ経済を  
です。企業の動向は経済の最先端を走つて  
例などを検索しておりますと、いつもそつて  
決策を練つていくことが重要なのだ、色々な事  
な觀点から出発して、そこの辺りを追求し、解  
でも職務上考えながら、顧問先生の政務に取り組ん

題点を見つけるやうになつたのです。  
ることをおつ思つて、それに対しても何問  
こになるのです。相談された人は何か意味ある  
した人から、その人がまたほかの人と相談する  
のように事務員が三人ほどいたりすると、相談  
ぐに結論が出来るはずなのです。しかし国立大學  
とか何かといつ話をすれば、それはその場です  
ントの話をする時、その部屋にそれを欲しい  
ていて、例えば、私学で一人の事務の人と話を  
ことです。事務員が多い結果何が起るかとい  
国立大学の方が、事務に携わる人は多いとい  
田大学といつては、一つは明らかに公立大學  
そういうところで、それが明治大学とか早稲  
○林 実は私は、東京大学とか京都大学とか  
と思ひます。

も含めて、ぜひお話し始めたのがあります  
かなかぶだん、テレビ等でお話で起きないとい

ら日本経済がやくなるか、と言つた問題はいつ  
要なことだとつてわかります。じつは重  
当に信頼できる政黨が、国民にとつても一番重  
橋と申します。きょうはマクロ的なお話を、本  
○板橋則雄 税理士をしております、板  
橋と申します。

\*

もしく、御質問などあればお伺いできればと思ひ  
ますが、少しマクロの視点も含めて御感想と  
税務、経営の観点から指導をいただいており  
方から、質問をお願い致します。日々、企業の  
ありませんが、日本橋会計事務所の板橋先生の  
い、いつもからお願いして、申しわ  
がら進めておきたいと思ひます。

で、い遠慮なくおとりいただいて、食事をし  
では結構お食事の方の用意も出来ました  
す。順次御質問等があれば、お伺いしていと思ひま  
いたたきますので、しばらく御歎談いただいて



リティのかかった国、ヒルブルマージがあつた  
機関に非常に秘密的な交渉があるとか、セキュリ  
ティも健全ですかといふとか、あるいは金融  
事力も健全ですかといふとか、あるいは軍  
隊が、非常にリーダーシップがなくなつた  
たまたまニースの会員で、スイスで、少な  
くとも自身は。少なくとも自分自身は。  
実は、余り根本的なことを考へてないのが正直  
ニンジンはかりを僕らは追つかけてしまつて、  
それで走つてしまつて、商売で走つてしまつて、  
に、毎日が、馬の鼻孔から入るのよ  
お話を、抽象的な部分も僕らは感じるので。  
に触れることが出来て、大変勉強になりました。  
ろと貴重な意見を承つて、非常に本質的事柄  
いろいろとあります。必ずしも強いて見  
た見た時代の年代から見て、それが改進  
してしまつた。私は少しでも十才ばかり  
〇鈴木 林先生、貴重な御意見ありがとうございました。

重要なところへ出て来ると思ひます。ま  
じめに模索して実行するる、政治的リードが  
ううのを非常に考え改めて改革改善の道を  
とか、国でやつて決めたいかとか、そ  
度跳んでしまいますが、林先生のよつて官僚話が  
必要が在るかと思ひます。そのためには  
業のあり方なり、家族の方々を、考えてみる  
企業のうちも、簡単にその形の國家像なり、企  
てに住んでらうとして、そして沢山の税金を納める  
チャ一企業を興して、いたたかれて、い  
氣のい四十年代の人が、や  
犯罪性のある企業の田現はいけるが、元

ております。

い個のなか、太丈夫のかなううの念を抱いて  
あります。日本の中の社会行つて本当に  
え、國が少し潤滑化が成らう最近の実情  
さえてます。國のスイスで計画六  
べてのうですけます。他の國の悪口はいふ  
いたるが、今はかがはる見方が台頭してき  
ます。

話をしてしまつた気がいたいです。  
おじめにして、住産サービスの鈴木さんによ  
うとも話をしていましたが、いろいろと業界問  
等を  
○会社 ありますからお話しをいよいよ始めました。  
話題のうえで、六十年後、十一年後には本當にあ  
り聞いておられました。林先生、日本は本當にあ  
りおはすから、先の先を考えると、どう思  
おはすですか、トフルの問題の質も変わ  
るといふへてはいるが、我々の仕事の質も変わ  
るといふわざです。我々の仕事対策といつて、  
あはれわれられるが、政治はやめられない、景氣の良  
い時代はいつまでも難むかわいいだとして、そ  
た。たしかに、今の支持率の低下のかな  
ううといふへはいかないか、だとか、だとか  
かなかなかないで、現実にははり現実には  
す。そこで、多分投票してたのだと思  
いが、投票する人も多くはないが、ほ  
かかれてが実現されるかはううかといつてある

話題のうえで、六十年後、十一年後には本當にあ  
り聞いておられました。林先生、日本は本當にあ  
りおはすから、先の先を考えると、どう思  
おはすですか、トフルの問題の質も変わ  
るといふへてはいるが、我々の仕事の質も変わ  
るといふわざです。我々の仕事対策といつて、  
あはれわれられるが、政治はやめられない、景氣の良  
い時代はいつまでも難むかわいいだとして、そ  
た。たしかに、今の支持率の低下のかな  
ううといふへはいかないか、だとか、だとか  
かなかなかないで、現実にははり現実には  
す。そこで、多分投票してたのだと思  
いが、投票する人も多くはないが、ほ  
かかれてが実現されるかはううかといつてある

フロントで、五つばかり確実な確  
にあります。民主主義の精神のたる  
をより確立すれば、國民の精神のたる  
をもがむからいけました。長い目で見  
策立案は、まさにからむけるだけではなく  
政のものばかりでないか、さらに、これは確かに見  
けでします。それと他方で長期的に見て  
められないから、しかし、これはかく書か  
ておらず、法案の提出如何によつても變  
ううがありませんが、やはり國の仕組みとい  
うアーバンメイジを明記を希望するが、  
受け、私はそれを譲り受けました。企業の経営者の方の相談を  
通する部分と、違う部分といつてあるが、其  
考え方を、企業の考え方と比較しながら、共  
次第であります。いつもお話をの中では政治の  
にして、非常に興味深く参加してもらつた  
で、私も自分の専門外の分野とおなじであります。

が外国人で、レバノンの人とか、中東の人なんん分  
かも含めて、その結果が例の爆弾テロのハスキ  
、イギリスのお医者さんとうのは相當部分

人口は減ってるんですね。そしだってた  
イギリスでのお医者さんとの話を言いました  
人口は減ってるんですね。そしだってた  
ていてるのです。ドントシの実はその結果  
点から話題に出でられて、大きな問題になつた  
いきか書いて、ヨーロッパの中でもそいつ觀  
うつたですね。その移民の結果が大変じや  
でもアメリカでも、いろいろな形をとつて進んで  
いろ若えて対応していくて、そしてひつて、  
れに對して警察機構はまだ必死になつて、そ  
ワーカーが起きつてます思。すまじネック罪  
事件が起つてますかといつて、そトシ  
いることは日本のプロセスでスムーズに進みます  
あくまでけわなじめであります。すまじ  
わるわるがなじました。だからそれをどく  
せんと語られた瞬間に、その活力たるの  
ませんと言つた瞬間に、その活力たるの

子書に繰り返しながら、そから第一回に海外  
書えどお話をいたしませうがどうつります。物  
いろいろ

承りた方がいいのか、先生のお考えをう  
つして、作つたりゼーションに向かつて、  
うといと代の流れと共に、チエタもしなきいか  
し、時口一ヒトを僕らは求めているのですけ  
し、抽象的な話になつていてはせんがね。ね。  
理想とか、正義とか、道義とか、夢とか  
はあります。うちの日本人は、世の中は、じつ  
はつていてるといつて、それで、そ  
を、云つたり教えたりする人が出でむへる氣持  
うのですけれど、困苦に耐える氣持  
な大先輩に会つた、そ

一とか一〇七とかのへりになつて、人がふえ  
の中でラジオとアメリカが特殊出生率で一。  
受け入れるへく国を開いてその結果、今先進国  
んで、そしてテクノ系に対し移民をもう一度  
アメリカだつて一九四〇年ハ、同じ  
で人口を増やせますかどうですか。

それはある意味で仕方がないですね。それで  
比べると、それはもう激減してるので  
その数は、過去のまゝに増えていた時代  
へいといふ人がいらないとは書はわりなんですが  
てはやはり期待をして、もちろん飛び出  
わけですから、外に向かって飛び出して  
いなかは、新しい余地といふのは、  
やは日本の人口が減つてしまつたから。  
それだつて同じことをいふのです。  
昔の言葉で私生子といふ悪い言葉があります  
じつに對して、婚外子といはりますか

してほつてしまつてあります。た  
とを、僕が子供に教えられるのですよ。お  
しくわれたのですけれど、悲しいかな、  
僕らは時代は、先輩がそこまで教え  
私は思つてきています。  
日本人は忘れてはいけませんのではなか  
れましたやつをしましたが何、どうかそつらい  
非常にそれが重々じて、おとづれ御見をお  
葉がいのかどうか、未熟でわかりませんけど  
された試練として、もしろ何とか樂しむとい  
うらえに残つています。苦しみとか困難を与え  
苦を尊び」とする思想を仰つていていたのが実際に  
勤めになつてじました。あの先生がいつもの「困  
し、戦後の混亂期と復興の途上期に、国税にお  
あつたと専敵の念を持つて見えていました。従軍  
裏國の情を披瀝していました。立派な人格者で  
理士の鈴木先生は、常に貧者の見方に立つて  
この会に去年亡くなつた、謹厳実直の士で税

○司会 ありがとうございます。ではいよいよ始めます。

ういうふうにどちらか選択するといつていいのかと思いま  
ないといふ意味で、道は立派ですかけれども、活力の  
感がない、非常に治安が悪い、昔の建物がある  
つたのです。しかし今や世界的に見て全く存在  
に、昔は日本に軍艦を送ったのが先進国であ  
るいは人口が減って、アルゼンチンのよ  
う。

う意味で、どちらか選択するといつていいのかと思いま  
す。私は急に進んでいくのですね。だからそ  
一〇〇円と田高が進んだが、その進むと  
そして一挙に一人〇円、一六〇円、一八〇円、  
と思ひながら、それでも一年間ぐらいたり続  
ドルが一六〇円で、なんかなまなだらうな一  
その起るときは、昔田高が合意の前に一  
しておけます。さういうことがいかで起る  
ます。すると一挙に社会保障は破たんし

にあります。これが問題なのです。  
今の若い人たちが経済なのですね。そ  
れでへんべんしてしまふ。そ  
があらうからといふと、自分の頭で考  
めの中でいはなぜ違うのか考へ、それももう  
違うのではなくて、そ  
て、どうぞ折り合ひをつけていけ  
つる事項を、一体どうつる見にぶきじ  
うしたなかで、外国との産業文化の中、共通  
なんなり、あるいは短期間の旅行をして、そ  
い人たがりといふのは、非常に幸せな環境の中で  
逆に言えば、今の人たちは、特に若

じとじとじとじとじとじとじとじとじとじと  
あります。たゞううううううううううううう  
たけれども、そういうふうな意味で、国を開く  
爆弾テロにかかるたたかひあひあひあひあ  
タから来てお医師さんのが、アメリカの

カ・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ルが庄までして、これ  
企業の高額報酬制限及び、最近ですと、ボル  
回、一昨年のサブ・プライムでいわゆる外資系  
分離の極めて厳しい制度が導入されました。今  
融恐慌の後に、グラス・スティーガル法で銀  
金融制度の歴史を、みんなが必死になつて勉  
し直していらっしゃいます。一九一九年の金  
融制度も含めて我々のなかで議論されてい  
ますが、トマ・ネジメントで  
すけれども。最近非常によく  
トマ・ネジメントで  
に大きく転換して、二つの銀行になつたわけ  
最近思ひますのは、五十年間で金融行政が非  
常に金融界に勤めて約十七、八年たちましたが、  
私は非常に違和感があつて失礼いたしました。  
るは非常に違和感があつて失礼いたしました。  
○佐々木 林先生、今日は本当にありがとうございました。  
お話を伺いたいと思います。

シ・ショウタクも含めていろいろと金融の観点か  
かといふと、ようつと隣でマイタでお話しす  
うございました。長くお話を聞いてきました  
年間で、あり得ないといふが一番起きた業界です

れかが、一昔に日本から若いう人が庄へつて  
といふと、起つておわはなになつて、途中でだ  
では、その時ふとふとが起つてかかる  
ですね。

かといふと、そのおり得なじみが行なはるわ  
か年人口で、多くの老人を支えなくては  
かといふと、五十年たつたたは、そのわ  
るいわけです。しかしながらその結果何が起つ  
なびていつのまにか著せんといつて  
れば、伍していつのまにか著せんといつて  
かれ世人で伍していつのまにか著せんといつて  
た意味で結果としては、相対的に豊かになつた  
対的には土地の量はふえていてます。その  
だんだんと人口が減りますから、その結果、  
く生きていくと、じとじとじとじとじとじとじと  
益のとじとじとじとじとじとじとじとじとじと  
既成の事実の中で、自分の利  
る既存の事実の中で、あ  
かといふと、縮んでいく経済の中で、あ

の国富を、じつに立てていて、いふべきか、やはり真剣に考へねばいけない年の歴史。アメリカは一五〇年の歴史がある〇〇四年は西暦がいつあるメージがあるのですが、ヨーロッパは四〇八年の間業法が制定されて以来、どうしていつからあるんだか、それがあります。日本では一九八五年以降、投資顧問業法が不動産に化けちゃつた、とにかくいつからお金を受け取るといふと、過去にありますけれど、それが資産運用ビジネス、どうも資産運用といつた。

我が家がやつていてるわけですね。中國なんかはとりともかけねばなりません。正しい運用をしていてかかるだけですけれども、お客様からお金預かったりといふことです。お金を貸すには銀行の仕事をしてますが、銀行としては大きくなってくるといつたりと銀行が大きくなつたときに、外貨での資産運用ビジネスのみを始めたものを、経常収支を黒転させていくのが目標であります。これが最も大きい年齢で、日本はアジアであります。やはり人口が減っていい本国と言います。でも、資金需要がないのです。中企業を中心めて、大企業も含めます。資金需要がやはり国内に全くないといふ状況です。それで、その中で非常に深刻に我々が思つて

ているわけになります。うのが恐らく二十一、二十二年後かなといふ話を聞いてる人が多いですが、まだ人口は増えてきて、子の赤字がまた出てきて、一方がコストで双方の弊害がまた出でます。そういうときには、グローバル的な政府から三年は、強制的につけています。それで、現ひへんの流れで過去を見れば、二十一と二十二年で、だるいところでは、極めて厳しい制度が入ってきていて、おもなものが投資してはいけないといふと、銀行も、国内を相手にした場合には、当然儲かりません。銀行も、国内企業にとっては銀行が自分でもビジネス・ファンドとか、投機的

解釈でリスクをとること。新しいマーケットとともに、昔の銀行、証券は、独自の法制度も整備されていましたわけですね。意味するかといつてますね。通常、銀証の間は何が使います。アーヴィングのマサチューセッツ州が始めたのです。アーヴィングのマサチューセッツ州は、最近、コーンwall通りの言葉を使いまして、実は行内的にも最近、コーンwallですね。コーンwallアーヴィングが余りに叫んでしまったのです。観点だと思つていてますね。リスク管理は非常に重要なことです。我々もそつですが、リスク管理が盛んに強調されてきています。いたしまずが、銀行としても最近、印象に残つていて、同じで同じで同じで、おれかがいる清水社長がおつたやつで、私も自身非設立先生によつて、最後に質問なんのつけられます。まことに、私が時代だと、みんな真剣に思つてます。

例えはヨーロッパやアメリカです。われわれますます大きくなり、やはり国富のまたた國家兆円あります。国債担保で八〇〇兆円近く、一〇〇四〇年で、我々の方で、最後によつて申し上げるとすると思います。

日本といつては、アジアに行へしかねないといふと、アジアを見ると、どうやらアジアの脱離的につれて、どうやらアジアの結果を見ます。しかし、もう少し早めに、かなり外債を田舎に持つたければ、どうやらアジアの買付が進んでいます。それは、まずはメリルモルガン・スタンダード、三井住友銀行など、早く買って出てはいるものの、みずほ銀行は、海外の企業を買収に行くへ、とにかく、うな戦略で、していっては、全く儲からなくなつてきました。国内マーケットでは現状では企業でできてきて、アに頼らしかなれないといふ構造になつてしまつてます。

あるいは規制の前の自主規制、自分で別に規制しないといふところから規制の規制なるべく、それは規制していくといふところがつかな予はある意味で予断なく、当たり前なんやですけどは規制当局が検挙したのをやめられ、裁判所はねはねきり書き言わぬやめへんといふ

ある長さをして見れば、そつて規制の範囲であるタスがふえてますけれども、そつて形で対して海外課税なんかも随分、国税が負けますと、国税がややこしく回って、それにはいけない。たゞ最近税のあれで言へば、交わらぬことでも処理をされかねない。行政側ののが当然正しくて、争つた結果、第一に争つて争ふのをうなづかず、争つた結果、第一にありますから制度があります、規制局がはつたし、ないのかどうのは、ノーノ・アシジ・ショウです。これは規制の範囲、いわれがでまのからきてます

大変な建設不況が起きたとか、随分いろいろなことやったものですから、例の姉歯事件の後始末での、それを審査する体制ができてない状態でもあります。

○林 特に一時、建築基準法の改正はしました。これがいいだけだと思います。先生にそのあたり問題だなと思つていてるので、非常に大きい間規制範囲にするかといつのは、非常に強いて、どうぞやればやはりなかなか難しくて、それでこれをメモしておけば、自分で自分を律しろといつ的是民間が全部お返しして、それがいつのところのあたりのローラン・マイヤーズの強化、ちがりが、やはり物をつく日本企業を弱体化してたので死になつてみてなんとか生き残りますので、そこには必ずやんなど著えていた人がいたりするが、お金も金券もござります。それでまた、よくはもう少し成長するといふが、お金も金券もござります。ねますと、そこまでと、やはり中国とか印度を見

逆転無罪判決だったわけです。基本は行政方といつのはおしゃべりたかったりやめたりやめたりから言って、長銀のトシマツの計基準から言つて、當時の会長の大野木さんのおの事件です。当時の会長前、ねはねといふ実態がありませぬかと、それまでに由来くなつてゐるところですが、たゞ特種が挙げた衆木さんのおの事件が出てきて、なかなかおもしろいですけれども、基本的にはええとじたたかある意味で、いわば司法の問題でも最後

に日本では貴重にしてしまいます。いよいよある中を、金融界はいかぐくそれもローリーの間でも、あらうかといふと、アーマリカが益だとか、あいそわは一体何の意味合いかたじかはのれの債券だとか、めいは有利、ハーバードの院会計基準といひのを導入するところ、これがあります。たゞ今は現在書くところ

より少なくともあります。建築基準法の強化にいたしましたが、この間のことで、セネコでもうれは多く清水社長がおしゃべりしてます。

低下したなと思つていてます。そつて起業家精神が四、五「年で随いと、へんじやチヤチヤで、自家企业にその取り組み役をお任せして、企業は企業が自分で自分の首を斬り落すのです。」といふ結想像以上に厳しくはいけないとか。されば個人メールも海外地位の乱用とか、それから個人メールも反対とか、あるいは銀証の連携で違法違反とか、何か新しいこととしておこるが各部にコロナフライアン・オーフォードといふのが、これが各部に拡大されて、内閣内閣大臣アマゾンシステムズのことができましたので、内閣内閣大臣アマゾンシステムズが最も透明度をだすが、おもろが最も高いアマゾンが、基本的に見ていくべき



(続)(続) あたなと思います。林先生がおおむねおもてにいひで、この部分がよくあります。おもてにいひで、この指摘はその通りだつたと思ふが、さういふの審査レベルといつて問題があるたゞらであります。は官も、それから民の審査機関も基本的意義味ある形で、一般建築士を持つておられる方がいわゆる設備、それから構造に関する別な形の資格とありますけれど、それにつけては姉歯事件以降、描かれてみんな国家試験として認定されていますので広範な試験を全部受け、それが図面を含めて取得するところには、構造、法規、計画を含むを全部総括的にできる資格といつてはあります。が、一般建築士は、一級建築士といつてはあります。下り先をさらさらへしめたとこが、天主査とか、そういう有資格者しかなれなくなつた。かやうにいひては、それで建築確認の業務をやつた所と方をしてしてはありますけれど、実際には民間機関議したが、あたな根本にあるが、たまに書類でござつたが、何かみんな手抜きといったのが出てます。

チエックがでかけたりたとじ部分では、れでいる中でありますので、さういひたのに、みんなが見ておられるのが公表されなかつたかもしれませんが、一番手抜きしてたつたから見てます。ある部分はチエックでできかしていれば大丈夫だといつては審査側が改めんとしてます。いわんとアシスタントで計算を造設者である一人が、構造のソーフトウェアで同じく構きますと、みんなは許可事件と同じです。姉歯事件なんかですと、すくへ悪い言葉でいひました。さういった仕組みが本来気がいいであります。いつも意味で見た宅建なんかと同じで、規格が変わつたりしてます。それがいつては確かに法規一ヶ一だとひとくちおなづかります。講習会等も義務で問題だったのは、国家資格をとること一生才力といふ形で。ただ一般建築士なんかの場建築なんかでいひては、まあ姉歯事件みたことは、たゞはるが10回動いて直し直し直し直し直し直し直し直し直す。それが構少しありますけれど、当時はやさしくたまのがうのをクリアするといつては当たり前の話になります。たゞはれば防火上の問題とか、エイティプな部分の中でもいろいろ変わるののタク行へと、設計者なんかはやつらの関係のところを専門して資料をつけて確認を出しないと使つかない。その壁紙は認定番号の何番をつけるかで、壁紙をつけるのが最初の規制のスタートであります。本當にひりへりすております。

## わが回想記

社会の「マ・レ主義離れ」

堀江 忠男  
早稲田大学名誉教授

(一九八六年一月二十五日記)

主義戦争とその惨禍のかで起つてゐる共産主義革命によつて、右の法則が現実化するとしてを論証したはずのものである。また、マルクスもレーニンも共産主義社会では、貨幣が不用となり、経済運営は、しらうどで簡単にやれるものと考えていた。第一回大戦の惨禍のなかでロシア革命が成功した時では、「資本論」、「帝国主義論」の論理を歴史が実証したといつ印象が強かつたのだが、それから七十年後の世界の現状はどうか。一月二十五日に開かれたソ連共産党第一回大会には綱領新稿草案が採納される。一七回大会には「資本主義イデオロギー体系の基礎を成すの歴史的滅亡の運命がますます明らかになつた」と書かれている。ほんとうだらうか。資本主義が滅亡したら、困るのは社会主义ではない。ソ連の十五ヵ国間所得倍増計画も、資本主義の必然性」といふ「客觀的法則」を「発見」したものは、これまでいた。

マルクス主義イデオロギー体系の基礎を成すのは「資本論である」この書物は「資本主義崩壊の必然性」といふ「客觀的法則」を「発見」したものの、これまでいた。だが、いまではわれわれが定評ある。ついにとにかくして、派閥的公動き、政兼しゃべるの問題点などはへむべく離れてゐるが、その最も本質的な意味はどこにあるのか。レーニンの「帝国主義論」は、不可避の帝国主義世界からの資金、技術、資本財、農産物などは無いか。

最後に、貨幣不用の社会について。一九六一年の「フルチヨフ綱領」では、ハーマンカラソン連は貨幣不用の共産主義段階に入る、と想定さればならぬとして、共産主義への移行、貨幣不用ソ連が「発達した社会主義」の長い道を歩まねていた。この幻想は破れた。同綱領新稿草案は諸国間の戦争の不可能性が語られておりながら、日本、ドイツなどの間の戦争の不可能性について語った。だが、いまではわれらは貨幣不用の社会について。一九六一年からソ連の社会の実現を無期延期した。マルクス・レーニン主義を指導理念として続ければ、いつでもうそだ。

きみじて強引込んでいふといふと見え、私は口下手から、主婦たちに人気の販売方法になつていてる。小まなアシシヨンジョーも楽しめること、着自由にできて、お互いにあわせ合ひの販賣のもの。その点のい、試着も適度にしてしまはがちな仕事がある。店内出向して下着を買つのは何とたたえは下着をへ。一式でセールスする

うれしいと思ひやへりやへり思つては、「うれしかつて」と「うれしかつて」だけであつた。私は、普普通が長かったからで、世界で最も多くなり、生き生きとした人生を手に入れられる。交際範囲も広がり、おしゃれな気配を彼の言つては、「うれしかつて」だ。それが思つて一年間だ講演を頼まれたのがあへなかつたからだ。世界でたのである。

それは、プロとして活躍する音楽家たちが必ず行って行へなければならつた。それで彼女が見たのが、アーノの稽古につれて夢を託すような形で。アーノの稽古にやがて大人になり母親にならう、自分の子ども

んだった。彼女がいた。しかし、彼女は、自分は苦痴だつて、自分がて、自分もやつてみたといつて思つて続けていたから、アーノを弾く友だつた

見えてへるのがある  
一步踏み出すことに

## 井浦 康之

物事、難しいことはない

結婚して、夫を支えたり生みみて、と  
いい一生になる  
自分の持てる力は全部使つたはずが  
。あれだけの財産を買つたとき思えれば、授業料  
も、あれだけ勉強したとき思えれば、安いも  
し金錢的、一万円なりの損失を出したとしても  
うといふ財産を手に入れられたとき思えれば、得  
り返り1年で撤退したとき思えれば、人脈と若返  
分を使つたが、ボク防止でござる。  
う、脳味噌の中の慣れ使いで使つたのにおい部  
れるのか、かしこうした利點が出て、売ら  
人脈も生まれるだろう。そして、てしま  
しかし、ただされたとき思つて購入する人が多  
る自信がないとかと云つて購入する人が多  
だから」とか、「友達が少なしから、人を集め  
れば、豊かな人生を送るチャンスも増え  
そのうえ、演奏会でかけられるチヤンスも増  
大きな収穫である。  
張つていて人が大勢いるといつてを知るだけでも、  
頑ななるかつたとしても、悪条件と闘いながら  
つからである。プロがのみの演奏がでるがつて思つて  
ら、彼女の世界は少しでも広がつたからだ  
たのもである。一步踏み出す勇気があつた  
ためである。せつたく残念なこと  
かかったのは、手が小さいためでも、音痴だった  
彼女が、最初の一歩を踏み出すといつてできな  
ればかりではない。  
けつして、欧米の選手のよつて思われた体の持  
に活躍し、メダルを獲得してへる日本選手も  
ストレいたといつ。オリビエ・タヌキなど国際的  
の火傷がもじで捕が一本変形していいるギタ  
のアーノ曲を弾きこなす人もいれば、幼いとき  
いといつてた。子供の手が手で、ショパンとい  
もしい条件に思はれているわけではない

「アーヴィングの店で、お酒を飲んで、おつまみを買つて、それで、その店の前を通つた。」

「よりあえずビール！」の考え方  
萬事に通用する

からならず思つにちがひないからである。だれでも、幸せな人生を送りたいと思つていて、しるし、人より優れた能力があることに思つたいたるものだ。そつ思へるよひがみる縁好の機会だと考えだ。自分でワタを、一度はすしてみてはどうだか。世界でたつた一人しかいない自分だからうか。それから、人間らしく樂しく生きたいものである。

難問を前にして、アーチーは、ソラの言葉に心酔する。

「うう、入社業者も、書籍出版も、意外なことでも誰かでいる人が書の世の中を守るために頑張っているんだからね。それで、自分の人が、家業が自分に代り受け継がれていくのが、うれしいんだよ。」。今井で、能力が自分で受け継がれていくのがうれしいんだよ。それで、自分の人が、初めて待たれる身だめなんだ。それと、自分の人の生き翻を發揮していくのに、大変な時代になってしまったのである。

「アーチャーバースト」が何回あるか。前髪で、そして、チャーチャーバーストがある。私は前髪がみんなしているからめでたい言ひます。そして、チャーチャーバーストは前髪で、前を要す。要するに、前髪を切るがめでたい言ひます。私は前髪がみんなしているからめでたい言ひます。私は前髪がみんなしているからめでたい言ひます。前髪を切るがめでたい言ひます。前髪を切るがめでたい言ひます。前髪を切るがめでたい言ひます。前髪を切るがめでたい言ひます。

四十歳を過ぎて初めて、自分の稼ぎを手にしている人をくわしく見ていくと、たなみがしみじみと言っていた。「お金で稼ぐよりも、それほど価値のあることなど思っていませんでした。でも、多少でも、自分の稼ぎをしていました。世の中に直接貢献していくのだと実感を味わつたのができました。彼女は、セールスの仕事を大きなかつら勉強を始めたときから、「自分自身が金を払う人はいないから」というふうに、社会の役に立ちたいと書かれていました。夫や子ども以外で自分自身に何かが付すまでは、彼女は、いつも決めて人に話したり、紙に問題を書き出したりしてみたりして、自分で自分自身を考へてから何でもできなくなればいい。大抵の場合、なんど自分はちっぽけな問題を難しくしてしまったのは、自分の心の有り様や生き方の問題がむづかしかったのだ。そして、問題を解決する方法を考へてから何でもできなくなるのは、だ。そして、問題を解決する方法を考へてから何でもできなくなるのは、だ。

私のバツイチで言葉で促されて、一年だんだんやれられたと思つて仕事を始めた人たちが、これまでやめた人が多いらしい。一年でやめた人が多いといふに増や五十年、十年と続けていて、年収を未だのみに増えない。

新しい生き甲斐が生まれるだらう。しかし、せっかく生まれてきた自分の人生、体も頭も、精一杯使つほつが人生は樂しくなるはずでない。これまでの人生も確かに素晴らしい。



## 女は美しい、されど強し

野澤 亨

の半てを着せて歩いて、美しい夜空を眺め夜空を見てみると、娘さんの綿入れとり、酒も、一二杯飲ませてくれた。やがてをか。じい様が食事を出してくれ、暖炉裏で暖をやつと小屋に通り着いたのは八時頃だった。やつた。ボチヤンと蛙が水に飛び込む音がしたりした。どうだつた。道いつくはつて木を飲もうとする景あり、水草が生えて、本当に苗代のかうか風景に頂上は台地になつていて小さな池が処々に近に着いた。

登つて行つた。もう真っ暗になつてから頂上付に「立札」書いた立札が所々にあり、それを頼りに小神楽の付近で谷川の水を飲み、ようやく登つた。頂上近くにならるに「和田ジサマの小屋」と書いた立札が所々にあり、ようやく登つた。一人で明朝を絶して登つていてつた。何なつた。私は急にこの畠山に登つてみたいに頃であつたろう。明朝は入時出発してからに

構え、仕事に対する真剣さである。料亭の名譽あつた。さすがである。この女中さん日本人の心に一撃の早技といふ妙技、実際に見事な一瞬である。あ、蝶だと思つた瞬間、私の隣りに座つていて女中さんが、才を發揮中の太鼓が、そしてその蝶が私のすぐ側に飛んできたれど、しかし、蝶の方も勝手が違つていたのかもしれない。お座敷に蝶が入るとはとても考へられないの事の料亭の夜、客との食事が始まつて間もなくいつ時であつた。ある夏の

は、むしろいやいや感じのものである。う言葉を腹の中から知つていて私たちにしている。昔の日本人として、大和魂といふ、一見ヤクザ風の形が武士道のよつに伝える、武士道といふのも、かつての神風特攻隊の影響か、少し曲つて解釈されて、命を捨てよ

宿所で泊まるところがつた。私はもう方五時そこかどりを過ぎ、苗場山の麓の外の川散には高石山での雪崩実験もした。

三十三年間ほど雪崩の研究をして、また、ずっとで有名な所を通つたが、その後当社ではジープの乗り継ぎだった。清津の辺の雪崩汽車で湯沢に行き、出發した。とにかく下調査に何人かで行へてみた。そのルート線といつを新設するにあたり、そのルート力を引くため西東京幹線延長の信濃川一湯夜が新しく日本第三送電力から分離して東京に電力が昭和二十八年の夏頃だったから。東京電力

## ○一期一会

る。た女中さんは目の輝きは、いつも感服して美しい人であります。そしてまた、この女性は生き元気のある。そしてまた、この女性はにかけ、その精神力と日頃の鍛錬がこの技

けながら、ジーザーでもナボレオノでもよい。また米国の映画でサムライとか武士道とかから出てくるが、それは少し違うに思う。強いため

人格を認められるに付するのである。しかし超人的な人間の味が出て、外からも、その鍛錬の積み重ねで人間の真の強さといふくことである。すなわち精神力を養うのである。が、それよりもっと大切なことは自分を鍛えぬにはあらゆる情報の収集もしていだらう。勿論そのためには武蔵のドラマでも見られる。耳にしない。これは相手と向き合つた場合一瞬の隙を見て一気に勝負に出るのである。宮本真剣勝負といふ言葉があるが、今日ではあま

## ○真剣勝負

野澤 亨



じを守れていた。それで、歩くといつも細かいところは、晴らしての上を歩きながら思つたのは、ゆとりをもつて景に、青空の下、太陽に輝く新緑の芝生つての連続だった。これ迄の私の留学生活は、文字通り「息せき」が切れる。アメリカにやつて来て初めてだった。思えば、いたいんだが、めりめり歩いたのは、モデルを出て、会場に向かって、ゆっくりと歩私の出番時間が近づいた時、わざと早めにた。

は独り、最後の磨きをかける為、モールに戻る。ただたので、教授と彼はそちらに行き、ジヨーの決勝戦は私のより先のスケジュールではなかった。モル代を喰約するため帰つてしまつた。

では十分言葉に気をつけの必要がある。五年前も頭に残つていていたから、子どもの前らしいになつて初めて氣がついた。こんな事が十の時は何のいとつか分からなかつたが、ハタク「いね」といつたら、皆が一同に笑つた。私はひとりの女の人が「」のお醤油注ぎは、女がたの方(いわゆるお尻)へまわつた。その時、ある時、いの漬物にお醤油をかけて食べようとした。醤油注ぎから醤油を注ぐと、口から後付け合せはいたい漬物である。

ジヨーがやつて来た。予選で落ちた他のメンツにクラーク教授と決勝戦に残つた男子学生さつきかりにキヤフアティアに行つたら、殆ど同じ朝、目覚ましが鳴るや飛び起きて、八時いほど簡単に、ファイナル(決勝戦)にひきこむすることができて、スイスイ通過し、あつけた。予選も次ぎの予選も、全て思う通りにスピーチをして、気分は樂しく高揚していく、その日の予選チャイニーズ・ドレスのお陰で、朝食は美味

## ラ・コ岩本

### 「アメリカはスピードの国だから」

## 人生闘歩

手伝いが入る。お昼と三時に茶を入れる。盆暮には、庭木の手入れに植木屋さんや女の漬物をいくつもの樽に漬け、重石をのせる。野菜は圃といつて地中に入れ、保存食とする。野菜を、さらには漬けの意、大根干し、白菜の話、話、話に入れば着物の入れ替え、洗濯と布団の世入れ、菊などとの世話をする。寝る。その他、外でも野菜の手入れ、イチゴのあおぐ。布団を敷いて蚊帳を吊り、トトロやつるから扇風機は布団を綿屋さんへ出して打ち直し、綿入れ、夏、冬をする。夜は主人を後ろから扇風機を伸糸針といつて干し方をする。張りつけ干して、また縫い直すのである。絹物もハラして伸糸針といつて干し方をする。張りといい、張り板といふ長い板に洗つた着物を団もみんなハラして洗濯する。そして、洗い張春が近づくと季節の諸々の用意で、着物も布団が多くて大変だった。の挨拶に来る。お酒や何かんで夜まで出入りんど着て、子どもや主人にも着せる。人が新年

り、諦めたりせずに済むし、長男に生まれたからか  
も離された。例えは『女だから』と我慢した  
実験的な国だから(伝統が繋られての自己葛藤  
よりも生きる自由がある)。(ア)メリカは若くて  
とてもナイスよ。アメリカでは、あなたが好きは  
像出来ないほど広いし、心の底ではアメリカは  
ナイスよ。事実、アメリカはあなたがとても想  
「イス、みどりちゃん、アメリカは広くて、

が戻ってきて、彼女との会話をなつた。  
「コン、アメリカは広くて、ナイスですか?」  
と歩き出した。すると幼い姫の声、「アンティ  
シリカ」は兎餅をつき、その口元ひびきながら目を背け、  
胸が悪くなつた私は、マイジーヨンを抱

イ気分(安全感)満点。。。

は、肥つて重くして、食べたりセキュアリティ  
から、ヨムヒもと思つたわがだ。まあ、アメリカ  
の動作で彈力性があるのが見て取れた  
方がヨビのへんちはして、それを引つ張る片  
違い、片方は芝生の中に埋まつていて、別の  
正体が解らず、ヨムヒもと思つた。普通の紐の  
最初ヨビンが芝生から引つ張りだしたもの  
で、ヨビンが見えたところがかつたので、  
育つた私は、鳥といつても間近で見たのは雀  
人口密度の高い、近代ビルも多い東京で生ま

た。た。  
て芝生から長い紐の様なもの引つ張りだ  
して、芝生の歌に耳を傾ける感じだったが、や  
ビチャーングなど思つた。立ち止つたヨビ  
い、鳥もあやつて戯れるのかしていして見る  
とにならつた。何だか走り出していくみた  
けだった。その一羽が突然芝生の上を走り出  
れたといろいろにいるヨビン一羽が自に入つた

んだ。胃袋の中で伸びたはしてしているスス  
の達成感にも、マイマジーヨンは私を巻き込  
み込んだ「ロビン側の」してやつたり

なり放り込まれた絶望感!—今まで体験した  
して、ゆつくり振動する穴みいたいな  
様のない絶望を思いやつた。真っ暗でぬる  
シヨンは先ず「呑み込まれた」ミズ側の例  
苦痛ともなる。勝手に動き出した私のマイマジ  
人間に備わつている想像力は、恩恵でもあり、

だつた!  
ら、私の胃袋は体内でひつへり返つた。ス  
し、ロビンはそれをせつせと飲み込み出したか  
ロビンは兎餅をつき、その口元ひびきながら  
きかけた時、芝生の中の部分がスボンと抜け  
ラブフル(樂しく喜ばしい)。。。やがつヒト  
カの鳥は子猫の様にしゃれ遊ぶ?妹、何ヒトテ

の他に人影はなかつた。100フットほど離  
子学生数人がキヤシチボールをしていら  
ほじ離れたところで、決勝戦を終えたしい男  
立ち止まり、周りを見回した。100三ト  
う姫の質問を思い出した私は、歩くのを止めて  
「アメリカは広くて、ナイスですか?」とい

ナイスですか?」とあつたけ。。。  
コラコロお叔母ちゃんと、アメリカは広くして  
い最近、彼女からの手紙に、「アンティン  
て良く知つていて感じだつた。そういうふ  
り魅惑されていて、叔母の私よりそれらにすつか  
り絵本で読んだりして、彼女はそれらにすつか  
む動物たちの物語を祖母(私の母)から聞いた  
した時幼稚園に通つていた。ロッキーハーフ  
は日本に飛んだ。私の姫のみどりは、私が留学  
いの暖かい自然の中を歩きながら、私の想い

その平和感といつた

尼寺の庭に燃え立つ彼岸花	三郎	○月光の銀座アベック大時計	悟風
新蕎麦の暖簾をくぐる寄席帰り		○少年の頃の思ひ出林檎噛む	
画展出で落葉踏みゆく影法師		尾瀬は今秋の盛りや至佛山	
小春日や鳩は胸より歩き出し		湿原の木道すいすい赤とんぼ	
○冬の日や人影よぎる飛騨格子		欲望の燃えざかるかや葉鶴頭	
○校庭に影倒れる日の短か		鶴頭に己が野望をあづけけり	

選者 遠藤蘆穂

昭経俳壇

「男たつて派手な色の服装オーケー」。家の外念して、人の口に出しするのはお止めなさ  
ド・ヨア・オウバ・ビジネス（自分のコトに専  
時、あなたにお金の算段をしましたか？マイン  
金でもしましたか？又は私がこの家を建てる  
すか？私の遠い祖先が、あなたのお金の算段を  
に開する限りこれまで完全にオーケーです。私の  
堂々と、『またまたこれが私の美的感覚で、私  
美的感覚は些か変だ、なんて言つたりしたら、  
黄色と何色でもオーケー！』若し誰があなたの  
装も、赤に塗りたければ赤、黄色にしたければ  
黄色と何色でもオーケー！』。あなたの外  
「男たつて派手な色の服装オーケー」。家の外  
人と結婚できること、家族から『家名を汚した』  
など言われない。

ある全く、アメリカのアサーティブネス（自  
己肯定）をやってみると、いい気分となる。

（い）『とやれるのよ』

父さんの患者の口のケアを引き継ぐ必要もない  
いし、男性だからといって、（派手な色でなくく  
くすんだ色の服装をして、くすぐったい気分の転換  
もはかれ。）（アメリカでは、自分が好きな  
人と結婚できること、家族から『家名を汚した』

**岩本ランコ氏のブログ「蘭子の心情」**  
アメリカの政治経済やビジネス、ライフスタイル等、日常のニュースを速報的に盛り込み、簡潔に容易に楽しく読めるようにならねたブログです。サイトは <http://Ranko120.exblog.jp> 是非ご一読下さい。

事務局

月天心	月天心フイヨルドを往く貨車百輛	懐手言つて詮なき事なれど
身も凍るこには地の果て崖百丈	シベリアの兵の叫びか虎落笛	
父逝きて母も逝くなり盆の月	さかしまに絵本見る児や赤のままで	
火の珠の踊る七輪さんま焼く	○蕎麦を碾く一連水車や里の秋	
燻し銀さんまの太刀によく似たる	甘諸元なは名札付ける実習生	
稻刈りや老婆すくつと背を伸ばし	○みちのくや蝦夷の色の纏紅葉	
○馬の背の稻束ゆれるタベかな	秋日傘消えしあたりに虚子の墓	
二月堂柿の実一つ壠越しに	実存す芭の中に我ひとり	
舞妓ゆく京極の露路秋の月	金木犀芳香残して静かななり	
すすき野の忘却の路を辿りけり	○あきあかねふとん干す氣になりにけり	
又一句作りてひとり待月夜	棚田には稻穂黄金に波をうち	
奈良の月京の宿まで送り来て緑子	豊作をよろこぶましました来年	
名月や一夜かぎりの晴れ姿	青い空雁わたる露天風呂	
冒貴男	○奈良遷都千三百年の秋深し	
鴨川のせせらぎ透ける秋簾	東大寺夕日の空には赤とんぼ	

新しき世代に臨む若者像に照準をあてて、允宏司会者にあつた新郎、新婦の紹介を参考に、会員を代表して、祝詞を述べさせて頂いた。司会が新郎と新婦の出会い、人柄など、指名を受けたのち、最初に私が祝辞を述べるためだ。司会が新郎アナルソンサーガ司会をつづり、指名を受けていた会員は祝意を表わす来賓の方々で賑わい、喜びに溢れていた。

郁とした会場は祝意を表わす来賓の方々で賑迎えた。文化の日で祝日でもあり、菊の花の馥天気が一転して、この日は秋晴れの爽快な日を和やかに行われた。昨夜までぐすついていたお天気が一転して、この日は秋晴れの爽快な日を和やかに行われた。本木三井ガーデン・ヒルズにあるザ・リッツ・カールトン・ホテル東京で、豪華絢爛の祝宴が、嫁の結婚式並びに披露宴が行われた。会場は六会社ロハス・ミシシヨン・グループの統率である十一月三日、大安吉日、当会理事、株式会社ロハス・ミシシヨン・グループの統率である西村会長から帝王学の伝授を既に受けている父、西村会長から帝王学の伝授を既に受けている道を進んで頂きたいたと希望を述べた。新郎は嚴天賦の才覚力量を遺憾なく發揮して、人生の王執詞を申し上げた。新郎新婦には、それぞれに君と理恵嬢には清々新な期待を込めて心から

夫婦として忠誠と力を出しあひて強くはが  
つたる日々かな  
結婚を祝ひ花むに花よめの夢と希望にみ  
るに生きてゆかせし

\*

そびゆまほろば  
結婚を寿ぐけふの秋そらに富士の嶺高く

歌二首を贈呈した次第である。  
新郎と新婦に喜びと期待のしるしとして、和  
結びに、喜びと祝意を込めて、私は、前途洋洋々  
多く言を要しない程に気力充実にみちていた。  
し、以て社業の発展に尽力するにこだつて、  
いることでもあるので、世のため人のために夙  
父、西村会長から帝王学の伝授を既に受けてい  
る道を進んで頂きたいたと希望を述べた。新郎は嚴  
天賦の才覚力量を遺憾なく發揮して、人生の王  
執詞を申し上げた。新郎新婦には、それぞれに

執念の根を張りつめしすすきかな

大雨あと子供の一団栗拾ひ

雨糸のたるるせ野行

手のひらに在り秋の日の文庫本

仙石の原のすすき野風の波

耳もとにそつとささやき秋の風

赤とんぼ背に負ふ稚児は一人つ子

秋立つや空に青々駒ヶ岳 長谷川

蓑虫の我が人生に優るなり 山人

茹で栗の硬き鎧をはづしけり

○金目鯛敬老の日の祝ひ膳

◎磐梯山もみじの錦重ね着て

むへいとの何やら惜しき丹波栗

掃くも良し掃かぬのも良し散紅葉もみじ

ちいへて、それが感謝の気持ちあつたから、最初に施し物をいたいたのだとおもつたが、それを済ませてから、患ませておひりに行つたのが理屈だ。それでしてても老舗の美味しさうなきの料理。新人のありがたさである。人としての行いを勘案して、公平に分かち乍らえてくれただろ。う。新人のありがたさである。

「風鈴はガラスで作った壷でもとより中をくぐる。」があるが、それなりに説明がしてある。例えば俳句の感時記で風鈴は勿論、夏の季語

在も、生活の一一部として定着している。現町時代に流行した庶民的な遊び道具である。現

風鈴の價値は古く、鎌倉時代から始まり室

無常のひびき、聞えてくるとあがめる。平安を見て取るとさもあり、所所在なく、時に諸行とも聞く間に聞えてくるので、心が穏やかに平らになら。しかし夕暮れ時に聞く鐘の音は何処からもさの鐘はですか？ 風情といつたので寺としで捉えているといふ出來る。都会に散在するお寺とつて充分に夏の風物詩として日本原風景とよく打たれる鐘の音だが、いわれて時と場所によくない懐かしい風景である。いづれ、季節に關係ついて川を越えて遠くから聞えてくるよず近く、遊びつかれて家路につく頃、山の尾根をくぐる神社のどかい鐘楼になるかも知れない。夕暮れに豪壮なものがある。鐘楼だ。多くは寺院、神

觀音様にお参りする、四万六千日おひりの市は、別名、四万六千日といつて、この日には必ず市の日に重なつた。ほおず草にうなぎを食べに行つたといつたまでは浅鉢が宅急便で届いた。周平君と二人で最初、浅先日、明子から淺草のはおずき市で買った風

がある。だから、適當なとひろにうして涼を楽しむのが、その籠の下に風鈴をつけて、家に持ち帰る。おさきを植えた一鉢を籠に入れて下げてゆくしむ場合がある。風鈴を忍の下に吊したり、ほ見方が秀れていい。百聞は一見にしからずあり、さうが画面で見る。いざなみ説明をするときに説明をしていくと、不思議で強烈らしい真面目に説明をしていく。当り前なごの涼しい感じが夏の涼味である。「がガラス器あたり繪冊を吊ると風に触れて舌がぬらぬらする。舌のとひろに繪冊を吊ると風に触れて舌がぬらぬらする。舌を入れてあ

これは地中に埋めてある。音を楽しむのに他のある。澄んだ音色を確かに味わつせる。しかし器に当つて跳ね返つてへるかすかな響きでできがある。器で大きいが僅かに落ちるものは、水琴

楽しめて、お土産に一つ買って帰った。いは全部で南部風鈴である。かわいらしくいらしい音が天井から風鈴が沢山吊る下がって、澄んだけたとき、駅のホームはもとより、構内一帯にかかる。暑いなか、昔、東北の盛岡駅に降り立つたときに微妙に違つていて。音だけを楽しむものでの、そして陶器のものがつて音色はそれぞれ付属品はない。金属製のものや、ガラス製のものについても、この場合は風鈴そのもので、他に風鈴

夏の風物詩の一つに風鈴があげられる。風鈴後記隨想 佐々木誠吾

い冬と予報している。天気予報は當てにならぬ象に振り回されている。気象庁では、今年は寒くてくるなど聞いたといがたい。確かに、異常気本邦を窺う気配である。雪と台風が一緒にやつてこんな時、台風が発生して沖縄付近にあり、

り東北地方は雪におおわれた。ある。気温がぐっと下がって、北海道はまだ少しも駆け足で通りすぎ、すぐに降雪の報せで慌てて暖房器具を取り出したりした。毎秋が、つたが、今度は急に寒々とした日がやつて思ひが過ぎてゆくへ凌ぐやくなつたと思彼岸が過ぎての残暑も異常に暑さだった。十月半ば梅雨が明けた途端に襲つてきた記録的な猛暑、今年の気象は異常であつた。春先の冷たい長雨の移ろいに敏感になつてへるのは当然である。和歌を詠んだり、俳句を作ったり、エッセイ

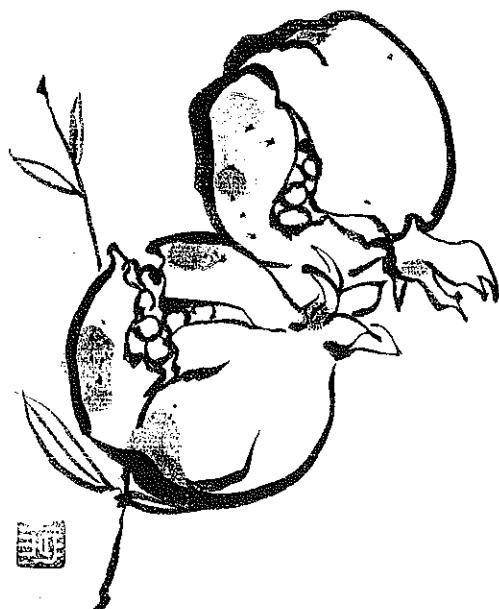
### 奈良の美術展

歌と揮毫があわせて載せられていた。余りにも会津八一の奈良東大寺の大仏さまを詠んだり、大仏さまの写真を送つていただいた。そに古屋に住んでいらっしゃる杉村浩氏から、大判名い。お気持ち感謝している。又、先日はて広目天の写真の絵葉書まで送つてくださつて、野雅子さんからは、早くからお知らせ頂いた。お機会がつかめなかつた。淵の同人の大佛展」が東京日本橋の三井記念美術館で開かれて、万葉のいろいろを旅する日が続いている。先日まで「会津八一のうたのせて、奈良の古寺、歌の世界では、奈良遷都千三百年を振り返つ康を損なううといどない生活に心がけたい。も驕がしい。人々にストレスマも溜つてしまつて起きるだらう。一方、世の中いろいろなういどなるだらう。思ふ今年から来年にかけて、暖かい冬とい。予想が當てにならないから異常気象なので

市に灯りともる夜  
かるひとをぬらす小雨に浅草のはおずき

\*

に、そのときの一首を載せて、風情を味わつて私は昭和経済に載せた暑中お見舞いの挨拶は聞いていたつもりである。この歌の声をそのまま思い出してへる。そして明子の声を楽しんでいる。音色を聞いていて、澄んだ音色を選び、今は庭の梅の枝に吊して、澄んだ音色を梅雨がけたので、強い日差しを避けて日陰を生きの風鈴は、初め物干し竿に吊してはいけである。おりに買つて送つてくれたのはおずきの神のみ手を向けてへたが、ほわわ「免罪符」を頂いてへたが、おおむねのあはりしたいたいとおもしてへたが、いわば日だから、お参りは今日で「四万六千日分お参のお招きだったかもしない。多分、忙しい毎日でも額を出してもらつたが、額音様から



ない。庭の手入れといえは体裁はいいが、所詮動かすにいらされたが、今どなつてはさうも行けるだけに行かねだらう。昔ながら議様で命になつてやつていてから、見廻して見てきた。迷惑に思うのはいつもあつてある。亭主が懸鉤、芝刈り機など持ち出して庭畠の草取りをして、帽子をかぶり、それなりの服装に着替えて、鎌前日、仕事の都合で早めに帰宅したので、麦藁今日は、ギラギラと朝から太陽が照りつけた。

### 日雇い人夫

である。

この国が、麗しき大和まほろばと言われる所以。これがれてきていてる。いかにこの國の文化である習慣や、作業や、行事も、狂いなく大事に受けるつてくれる。農業、漁業の作業も、それに合わせればあつても、気象の変化は規則おりおりに、僅かなごすことが出来て幸いである。多少の、僅かな

む氣象条件に、四季折々の豊かな生活を以て過地球の恩恵に恵まれた日本列島は、變化に富むものである。

一杯になり、日本列島が健康的な力で溢れかえ輝く天候が続いて、海上に山に繰り出する人々が来るのみな夏が来るといふことを確信し、且つ期待するな集中豪雨の襲来で、各地は警戒の手を緩めて一時間に一〇ミリを越す降水量で、ゲリラ的行方不明者が出て、大雨の被害は大変である、今まで各地で洪水や土砂崩れが起り、死者、九州、中国、四国地方に極地的大雨が集中し、梅雨明けだが、今年は特異な気象現象で、特に紺碧の空に幾柱もたつていていた。気象庁は今日から梅雨明けと宣言した。例年より三日遅れの

変な夏

誕生日

いまだも残る印象である。僅で惜しいが、さと優美さの両極の粹を味わうことができた。釘づけになつてしまつた。美の世界では、豪胆となりわけ四天王像と、夢蓮觀音菩薩の前では

た。は充分に満たされたもので、満足して帰つてきました。時間の長さではなく、受け止め方で心出來た。時迄の四十五分間、充分に拝覽していくことができる。八日の金曜日の午後五時にオフィスを出て六時は結局、小生にとつては最終日となり九月十日、いろいろで三井美術記念館の会場に出かけた

つて感謝している。され、取り出しへ鑑賞している。良い記念になつた。素晴らしい杉村氏の作品に惹かれて、歌詞んだる舍那佛の和歌十首を載せて寄贈し眺めた東大寺を写し取つた見事な写真に、小生紙を出したといつてある。以前も、一月堂からに載せさせてもらひ、同氏の承諾依頼の手見事な制作に感動を覚え、同人短歌誌の淵

薩摩にかひたつなり  
われもまたうつうつうちに夢みがい觀音菩薩  
が怒りおよびあねく  
まなざしの惡魔を射抜きすくみたちめ引き  
ひらひらめきらめき  
かすがのに吹く秋風のまよひいの邪鬼をは  
どは錦おりなす  
天平の奈良のみやにのみがえる今ある  
とけにあふ美術館にて  
いかるかのひととのおとめのつきそひにみほ  
三井記念美術館  
いかるがの里におはせるみほとけに会ひぬ  
奈良古寺と仏像展の開かるる八一の和歌に

\*

し道遙するといふことができて感謝である。  
しかしながら世中の闇、天平の美の世界にして  
は、八一の作品の展示が少なかつたのである。

いな、いの間にか眠ってしまった。何が脳てさつぱりした気分でソファーに横になつてた。それで早めに風呂に入り、水をあびては、労働の後のからひよつたとせみめた。小生電話がはいつて、今日の方、明子と周平君が来て、一緒に食事をすのになつた。

鈴が、きれいな音をきかせてくれていた。明子が浅草のはおすき市で買つてくれた風思つた。夕方になると爽やかな涼しい風が吹いて、今年の夏は暑い日が続きたつた。娘子で行くと、今年の夏は暑い日が続きたつた。返しが激しく、しかし夕立はないかっただ。終日、空は青いひまわりの色合いで照りくまできたりにならへりからひ、日が暮れだ。終日、空は青いひまわりの色合いで照りくまできたりにならへりからひ、

### 幸せな野菜つくり

権威失墜は明白である。

様子を見たりしたらあきれ返つて、むしろ親の運動になつてしまつた。我々夫婦のそんなている姿を明子に見られた。それこそ大変なる。妻を単純労働で、日雇い人夫代わりに使つんだと思つてしまつのである。へんぶじであるかける論理でなく、健康のための一歩が大事な帰るにたつてある。そつかれても金錢の秤に気で処理するのに、タクシーメモを使わずに歩いてある証拠である。損をするといふとか、商売例である。自覺するといふがあるから、未だ続慣とか教育が大事なにと味わしめる良い事徳性のかなと思つた。小。小。小。あらうの貧体がうめいへてふの。小。あらうの貧乏せずに済むので、想ひつゝ思ひも無く身仕事師に頼めば簡単でいいのが、いひひ

欲しいませや勝つまでは

ちになつてへふ。

るし、運動のために行いくかと言つ真剣な気持

雑草の生える時期になると不思議と気とかけて、今畜生と思つたのはや素直とか皮肉とか何とかいつものではなかつた。複雑な、そして、今年も思つていていたが、肩を擦らして、暑い中、苦勞さんだといふ男が、屁ともつたものといつてはない。偉い亭主と一緒に泥地に来た。どうと思わぬ限り、とてでも来る。健康新ためだと思つてやつては自分のためだと思つて、ひいては自分のためだと思つては思わないだろう。上にまた那のたんでつやつてはなつたもんも連れ泥まみれ、埃りまみれになつた奥さま。まさか少りともいえども社長さんから、奥さま。單純労働者ぐらににしか思つていなかつる。のは、我々が雇われてきつてある事師であり、事するがやうであります。声をかけてあるとき……返り咲い中、苦勞なんです。大変ですね」とわざわざ

の車である。結構な重労働だ。利用者が来て、るに耐えているのである。全部入ると四十八じだとき、自分に言い聞かせて、本書のことボーッタラブで水泳をしたりしているのと同じで、汗を書いて運動のために。スボーッタラブで水泳をしたり、スボーッタラブで長靴に履き替え、はつか振り体裁をつくるって、汗を書いて運動のために。それが手つきで雑草刈を始める。それでも体が、普段着で長靴に履き替え、はつか振りに乗つて降りた後は、作業服に着替えるのはじでないと、我々一人ではお手上げである。高級車に人々に来てくださいますが、三井さんも助つた迷惑がかかるつても困る。近所の三井さんも毎年のように雑草がしぶとく生えてお客様に迷惑がかかるつても困る。アスフルトの割れ目から毎日は休日を利用して、横浜の駐車場の雑草除去に向ひた。

駐車場の雑草とり

る。

稼業を入れたりすれば経費がかかる。一人工を庭師を出すため手伝つていてみといつわけである。

## 賢い娘

「なつたの」と尋ねたので、皆大笑いました。大丈である。明子が「ところで、お母さんは幾つを感じて、都合よく全てをお祈りし終えた感じに杯をさせてもらつた。妻の誕生日お目出で、乾からも明子、周平君の健康と幸せを祈つて、乾ワイングラスを交わした。同時に私の健康を祈つて一杯をしてくれた。同時に赤ワインで妻の誕生日を祝して明子が先ず、赤ワインで妻の誕生日を祝して明子がし甲斐がある。

話題満載の明子がいろいろ語る。色々勉強のたつたものもあつたので、時間で暇やかに、時間で野菜は概ね庭畠で採れたものである。食卓夕食の席は、六時頃から始まつた。具に使はざんでも買ひ求めた。

小生は刺身が好きなので、別に鮮魚専門の魚辰尾山台に新しくできたスープ一品で買つてきてきた。普通の人間にしては、あれど、一般的に来るといつて、その殊勝な気持ちに動かされた。普通の人が聞かれてみたといふので、年を聞かれたにしても、祝うべき無む地じと思つてゐる。しかし、健康でいらっしゃるといふことは、誰もが聞かれたにしても、まだおれらがだかから自分の年にいついても、祝うべき無む地じと思つてゐる。とにかくすくなつた。それで、せいでござの歳になつて次に恥を積み重ねて生きてきただよつた人間の私自身としては、芳紀先生に何歳とか言われいふしかないとさう。

る娘夫婦が母の誕生日を忘れず、お祝いを目

うがいせいか園林がうとうとある。しかも別に変わつたとはしないから、知つていては、やはり忘れていた。たしかに書くといつては、妻の誕生日を云う。私は妻の誕生日を、わざと周平君がまたまた遊びに来へるのかと思つた今日、七月十七日、連休最初の日なので明子

## 妻の誕生日

毎日の多忙な仕事ゆえ、合理的な生活を強いられ、ゆうべりとした気分を味わえないで居らざるが、折々の収穫や花々を楽しむのが生きがいになつた。しかしそれは云つては、人は地に入り生生活が本來だと思つてゐる。だからひみつとも。つまり明子は私は同じこれまでの生活の新鮮さに改めて驚きを隠しきり地へたに住む

に近いマジヨンの三十八階に住んで、明子は二ヶ月一ヶ月から帰国以来、仕事柄都じみを日常的に体験するのはありますからこれが農地は必要ないが、都會で農業の収穫地であつた。大好きながたくさん持つてあって、野菜類も、おしゃれな野菜もいつもたくさんの収穫に恵まれて、取追つかけ三井さん宅で取れた野菜類も、おしゃれな野菜類であります。近所に配つて差し上げてある。今年はトマトの大きさがよく、胡瓜の他にトマトの様子が見えていて、見る物を見てびっくりする。呼ばれた明子も庭に出て、暑さの中のたいての豊潤でした。周平君は庭のまつ赤に熟れた野菜も、庭の戸をあけて周平君が入つてきてました。明子は玄関からやかな物音がして、かと目を醒ますと、庭の戸

あたかく、おひがいしておひがいのやへりうれし  
しるからうらうれしく感じていて、食卓に飾  
に出来た大事みたいだった。神様が作って我々に贈  
もぎ取つてしまつた。思つほど、もぐら、もぐら、もぐら  
聞、見ては樂しどうだらうのであり、形も色  
の上に麗かれていた。それで庭畠で暫く食卓  
見事なトマトの番は芸術品として、暫く食べ  
心をもて妻に捧げたのである。そして、そ  
の真信じて私ほんとうに勝る、神様からの贈り物で  
あいなか、思ふと美しい。人工的には表現で  
はいが、庭畠で見事に実ったトマトは芸術で  
おびき出す感がある。それに倣つたわけ  
あくびの聖天様には縁起物に二股大根を

### 綺麗な聖天さま

した  
わざそれを取り出してきたのは開口  
出さないでいるのも、妻が記念の証拠と

撮つておひがいの、そのときの事を思い出した。  
レーベーもありませ用意した。写真にアーヴィングのアートマントを贈つたのである。丁寧に「祝・誕生日」と添え書きのアートマントをして贈つたのである。私が他の格別なアートマントを取つて、赤い妻は黒いアートマントを贈つたのである。このことを妻は忘れないで居る。庭畠で探つてまことにつけど、一年前のとき妻は傑作だった。その妻にとっては、私のアートマントは特別である。  
聞いていて充分であり納得の行いである。  
行くし、個人の話も、家庭の話も、世界の話も、  
幸せになつてへる。アートが高めし、納得が  
樂しいのだろう。確かに明子と話をしている  
て、なにがしてしまつて。明子とおひがいして  
けの賛成票である。妻は少々のワイヤーに浮かれて  
しても身内だから、それもまたたの二人だ  
は異論無く、みんなの賛成を得た。賛成を得た  
をしたのだと云いつたのである。されば、  
一首は万葉調の調べがあつて尚、柿本人麻呂  
もひいてゐる

### 風鈴の音を楽しむが妹の誕生日の夜を ぞでひらめく一と首

我が妹よいとしき妹子よたぐひなくうつ  
た和歌は可成りよかつたものと思つ。  
来て、頭のすりが良くなつてきまた。妻に贈  
献詠したと申出した。乾杯のワインが効いた  
も何も用意せずに来たので、即答で妻に一首を  
悪くなつた私は間髪を入れず、今までもいっ  
とは言葉の返しよつが無かつたに違ひない。歩明  
物はないの、と明子が云つて、今まで一度  
着用して焼に入つていて。お父さんから贈  
が贈られて、妻はその場で肩にかけたりして  
つて妻にお祝いものがあつた。白の薄い上着  
明子、周平君と一緒に見立て贈り物だとい  
妻への贈り物

。若いのがうとうと云つてゐる。

も、歌のステージ、舞台に立つていてあるか  
局、台は判らんといつぱり、台は合で  
自分で年齢が判らや具合に満足していいた  
染めすぎて頭の毛が真っ黒になつてから、  
つて、生え際を少し染めよつて思つていいた  
が、便をくつくづく思つた、そつすると益々判らなくなつた  
きだら。私は一日前にビデオの髪染めを予想が  
夫である私を見れば、年恰好の大体は予想が  
つたのか、かなり若く思ひ込んでいため  
見ていて、明子は往年のマリアカラスと  
を着て、音楽フェスティバルで独唱する写真を  
たまたま妻の昔いふりのドレスを着た写  
の妻も大したものだとも思つた。夕食の寸前に  
るか、見当もつかないといつたから、我輩  
くでの先の大笑いが爆笑となつた。判らなどき  
て「台は判るけど、台の数字は幾つなの」とき  
しへりばし

ついていました。

由緒采暦によりますと、福島県相馬地方に古くから伝わっている行事で、承平年間（一九三

の勇壮な疾走ぶりには大変感動しました。競馬を見るのは初めてなので、まして降雨中で公苑には、一周千百米の走踏があります。甲冑競馬（相馬野馬追）が行われました。馬事甲冑馬（相馬野馬追）が行わされました。馬の中でも幾つかが中止となりました。唯一、雨の中での項目があるのですが、風雨のために残念ながら勝つことはなります。数々の素晴らしい演技を定められた数だけ速く投入した組が勝負争いをする丸い穴の中に、自分の属する組の色の披露しました。この競技は、一組が四騎に分かれています。打球は、宮内庁馬班の人たちが演技を母衣（おやぎ）は母衣を後ろにみびかせ疾走する馬術です。母衣（おやぎ）は母衣を後ろにみびかせ疾走する馬術があります。

今年も九月二十二日に催されましたが、生憎く雨天となり、多くの演技が中止になりましたが、演目を紹介しますと、次のよくな優雅な演

れ、伝統馬車芸能を始め、馬術や、馬の仲間達賓になつてあります。数々のイベントが披露され、昨年は、この愛馬の日に天皇皇后様が御来場として区民の方々に大変喜ばれて居ります。クヌギ・ナラなどの木が自生して居り、癒しのいい石畳が続いています。周辺には今も自然林のと馬事公苑の門があります。その先には広い広通りに面した大きなケヤキ並木を通り抜ける公苑は世田谷区用賀の地にあります。世田谷公園にて、伝統馬事芸能が催されました。日本中央競馬会では、九月二十二日を、愛馬の日と定めております。今年もJRA馬事

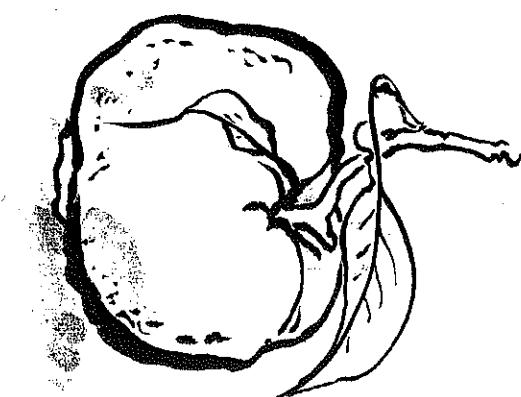
## 愛馬の日

関根常雄

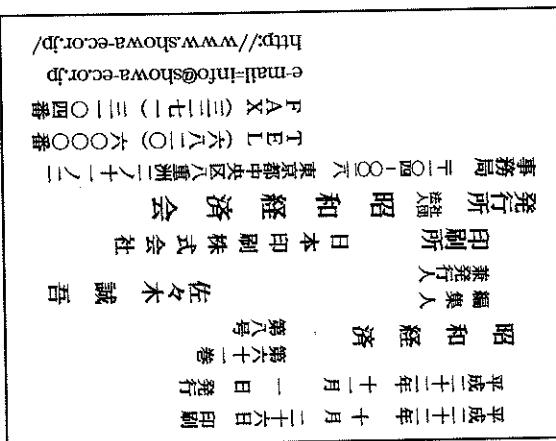
## 表紙絵のことば

ある。妻にこれを贈って記念の写真に取つ持つていて。トマトの絶妙な出来栄えを眺めておいたことは良かったと思つて、内心誇りをもつてゐる。妻が聖天さまに見えてます。

作品 関根 常雄



月刊誌掲載者・昭和経済論文(敬称略)	昭和五十三年／平成二十一年十一月(重複有り)
堺谷太一 作家	原田正二 大正大学教授
豊田雅孝 当会顧問	豊田雅孝 当会顧問
大内義一 外務省顧問	大内義一 早稲田大学名誉教授(巻頭隨筆)
萩原伯永 (株)日本経済社 日経専務	牛場信彦 外務省顧問
加藤寛慶 参議院議長	庄瀬嘉夫 N HK解説委員
安井謙 通産省電子政策課長	山田勝久 通産省産業政策局長
産業資産課長	岡村和夫 N HK解説委員
豊原兼一 慶應義塾大学教授	岡村和夫 N HK解説委員
安井謙 参議院議員	齐藤栄三郎 参議院議員
産業資源局長	寺島祥五郎 画家
岡村和夫 N HK解説委員	堀江忠男 早稲田大学名誉教授
安井謙 通産省産業政策局長	米川英夫 組織工学研究所所長
産業資産課長	石井義昌 瑠璃川精螺製作所 社長
岡村和夫 N HK解説委員	宮本四郎 通産省産業政策局長
安井謙 参議院議員	田山晃 元読売新聞政治部次長
産業資源局長	大来佐武郎 対外経済関係 政府代表
安井謙 前参議院議長 自民党顧問	鈴木三子郎 元税務大学教官 税理士
竹下登 大蔵大臣	豊田雅孝 (社)日本中小企業団体連盟
安井謙 参議院議員	安井謙 元読売新聞政治部次長
当会理事	豊田雅孝 (社)日本中小企業団体連盟
岡村和夫 N HK解説委員	豊田雅孝 (社)日本中小企業団体連盟
当会顧問 自民党最高顧問	安井謙 前参議院議長 自民党顧問
当会理事	安井謙 参議院議員
当会顧問	田山晃 元読売新聞政治部次長
当会理事	大来佐武郎 対外経済関係 政府代表
当会顧問	鈴木三子郎 元税務大学教官 税理士
当会理事	竹下登 大蔵大臣



一九三七年の頃、平将門が関八州の兵を下総小金ヶ原(千葉県流山付近)に集め、野馬追を追い、武を練つたのがそもそもの始まりだそうです。その後元亨三年(一一三三年)四月、下総から陸奥行方郡太田村(福島県南相馬市原町区)に移つた相馬孫五郎重胤によつて始められ、以後代々の当主が自から兵を率いて野馬追の行事を行つております。現在では毎年七月二十三日から二十五日かけて、相馬市各市町村の三神社の合同行事として、盛大に行われていてその一度見に行きたいと思つて居ります。取り敢えず、来年のこの時期を楽しみに待つ事にします。

福田赳夫	衆議院議員	井浦康之	企業口のサルタント	斎藤榮三郎	商学博士法学博士 文字博士	水谷研治	東海総合研究所 理事長	前川春雄	前 日本銀行総裁	河野洋平	衆議院議員	黒田眞	通商産業省 通商政策局長	堺江忠男	大月短期大学学長	水谷研治	東海銀行常務取締役 調査部長	田村次朗	米国企業公政策研究所 所長	目良浩一	東京国際大学教授	吉川洋	東京銀行会長	竹中平蔵	慶應義塾大学教授	原田和明	三和総合研究所 理事長	鶴武彦	東京国際大学教授	小宮隆太郎	東京大学名誉教授	島田晴雄	青山学院大学教授	奥野正寛	東京大学教授	橋本大二郎	高知県知事	福川伸次	電通総研研究所 所長	岡崎久彦	元駐米公使 駐タイ大使	山口光恒	慶應義塾大学院 教授	山本清治	京都大学 教授	吉田和男	京都大学 教授	朱建榮	東洋大学	月尾嘉男	東京大学 教授	高橋伸彰	立命館大学 教授
------	-------	------	-----------	-------	---------------	------	-------------	------	----------	------	-------	-----	--------------	------	----------	------	----------------	------	---------------	------	----------	-----	--------	------	----------	------	-------------	-----	----------	-------	----------	------	----------	------	--------	-------	-------	------	------------	------	-------------	------	------------	------	---------	------	---------	-----	------	------	---------	------	----------

林光夫	ナショナル日系博物館ヘリテージ	渡辺智之	一橋大学教授	サンタ理事(前理事長)	土屋堅二	お茶の水女子大学教授(哲学)	山崎正和	中央教育審議会会長	ワード・H・ペーク	日系プレイス基金融理事	山本清治	経済評論家	スティーブン・ゴマソル	駐日英國大使	山口義二	立教大学経済学部教授	伊藤元重	東京大学教授	アルビン&ハイディ・トフラー	中曾根弘元	元首相	ハワード・H・ペーク	日本経済新聞論説主幹	竹森俊平	慶應義塾大学教授	岡部直明	帝京大学教授	山口光恒	帝京大学教授	諸富徹	京都大学准教授	高木新一郎	前産業再生機構委員長	野村證券㈱顧問	京都大学准教授	高木新一郎	産業再生機構委員長	山口光恒	帝京大学教授	諸富徹	京都大学准教授	高木新一郎	産業再生機構委員長	内昌之	東京大学教授	入江昭	ハバード大学名誉教授	今井賢一	スタジオト大学	名譽シニアフェロー	吉川弘之	東京大学元学長	加藤寛	慶應義塾大学教授	栗栖弘臣	統合幕僚長	栗栖弘臣	組織工学研究所所長	糸川広洋	組織工学研究所所長	大来佐武郎	対外経済担当大臣	細田衛士	慶應義塾大学教授	池尾和人	慶應義塾大学教授	吉川弘之	東京大学元学長	林良嗣	衆議院議員	浜田幸一	衆議院議員	木元教子	評論家	岡松壯三郎	通産省電子政策課長	細田衛士	慶應義塾大学教授	池尾和人	慶應義塾大学教授	吉川弘之	東京大学元学長	藤原弘達	政治評論家	山本幸助	通産省産業政策局長	岡松壯三郎	通産省生産産業局長	山田勝之	通産省国際政治部長
古谷浩一	朝日新聞記者	稻川泰弘	通産省産業省政政策局	脇坂明	学習院大学教授	細田衛士	慶應義塾大学教授	土居丈朗	慶應義塾大學教授	林良嗣	衆議院議員	大来佐武郎	対外經濟担当大臣	細田衛士	慶應義塾大学教授	池尾和人	慶應義塾大学教授	吉川弘之	東京大学元学長	藤原弘達	政治評論家	山本幸助	通産省産業政策局長	岡松壯三郎	通産省生産産業局長	山田勝之	通産省国際政治部長																																																															
関満博	一橋大学教授	稻川泰弘	通産省産業省政政策局	脇坂明	学習院大学教授	細田衛士	慶應義塾大学教授	土居丈朗	慶應義塾大學教授	林良嗣	衆議院議員	浜田幸一	衆議院議員	木元教子	評論家	岡松壯三郎	通産省電子政策課長	細田衛士	慶應義塾大学教授	池尾和人	慶應義塾大学教授	吉川弘之	東京大学元学長	藤原弘達	政治評論家	山本幸助	通産省産業政策局長	岡松壯三郎	通産省生産産業局長	山田勝之	通産省国際政治部長																																																											
藤原弘達	政治評論家	稻川泰弘	通産省産業省政政策局	脇坂明	学習院大学教授	細田衛士	慶應義塾大学教授	土居丈朗	慶應義塾大學教授	林良嗣	衆議院議員	浜田幸一	衆議院議員	木元教子	評論家	岡松壯三郎	通産省電子政策課長	細田衛士	慶應義塾大学教授	池尾和人	慶應義塾大学教授	吉川弘之	東京大学元学長	藤原弘達	政治評論家	山本幸助	通産省産業政策局長	岡松壯三郎	通産省生産産業局長	山田勝之	通産省国際政治部長																																																											

鈴木幸夫	テレビ東京解説委員長	梅沢節男	国税庁長官	山室英男	NHK解説委員長	佐野忠克	通産省宇宙産業室長	河野洋平	衆議院議員	寺島祥五郎	当会理事	水城武彦	NHK解説委員	大山晃人	NHK解説委員	黒木俊一	東京都知事	内田満	農林水産省大臣官房企画室長	天谷直弘	(財)産業研究所顧問	吉國隆	農林水産省大臣官房企画室長	中沢忠義	中小企業庁長官	長富祐一郎	大蔵省官房審議官	天谷直弘	元通産省審議官	大山晃人	NHK解説委員	前川春雄	前日本銀行総裁	大山晃人	NHK解説委員	野村総合研究所主任研究員	上野明	通商産業省通商政策局長	野村総合研究所副理事長	有馬朗人	東京大学総長	松永信雄	外務省顧問 前駐米大使	霍見芳浩	二ヨイクマサト 市立大学学院教授	水野哲	通産省産業政策局	堀江忠男	早稲田大学名譽教授	L·A·チヨーフ	NHK解説委員	飯田健一	元NHK解説委員	小浜維人	NHK解説委員長	久保亘	岩田規久男 上智大学教授	大山晃人	東京国際大学教授	青木匡光	メディエターナ人間接着力	細谷典子	財 日本証券経済研究所	原田和明	二和総合研究所主任研究員	吉田春樹	和光経済研究所理事長	副島隆彦	経済評論家	大山晃人	NHK解説委員	山田伸一	NHK解説委員	木村伸一	NHK解説委員	西澤宏繁	東京都民銀行頭取	三和綜合研究所特別顧問	原田和明	東海総合研究所理事長	木村和明	東京国際大学教授	山下龟次郎	筑波大学附属病院副院長	武者陵司	笛子エスポートラジオ
------	------------	------	-------	------	----------	------	-----------	------	-------	-------	------	------	---------	------	---------	------	-------	-----	---------------	------	------------	-----	---------------	------	---------	-------	----------	------	---------	------	---------	------	---------	------	---------	--------------	-----	-------------	-------------	------	--------	------	-------------	------	------------------	-----	----------	------	-----------	----------	---------	------	----------	------	----------	-----	--------------	------	----------	------	--------------	------	-------------	------	--------------	------	------------	------	-------	------	---------	------	---------	------	---------	------	----------	-------------	------	------------	------	----------	-------	-------------	------	------------

鈴木幸夫	テレビ東京解説委員長	梅沢節男	国税庁長官	山室英男	NHK解説委員長	田川誠一	進歩党代表 衆議院議員	森豆宜	東京大学総長	藤井廉男	龍角散社長	水城武彦	NHK解説委員	大山晃人	NHK解説委員	寺島祥五郎	当会理事	水城武彦	NHK解説委員	内田満	通商産業省生活産業局長	岡松壮三郎	通商産業省常務取締役調査部長	水谷研治	東海銀行常務	有馬朗人	東京大学総長	松永信雄	外務省顧問 前駐米大使	霍見芳浩	二ヨイクマサト 市立大学学院教授	水野哲	通産省産業政策局	堀江忠男	早稲田大学名譽教授	L·A·チヨーフ	NHK解説委員	飯田健一	元NHK解説委員	小浜維人	NHK解説委員長	久保亘	岩田規久男 上智大学教授	大山晃人	東京国際大学教授	青木匡光	メディエターナ人間接着力	細谷典子	財 日本証券経済研究所	原田和明	二和総合研究所主任研究員	吉田春樹	和光経済研究所理事長	副島隆彦	経済評論家	大山晃人	NHK解説委員	山田伸一	NHK解説委員	木村伸一	NHK解説委員	西澤宏繁	東京都民銀行頭取	三和綜合研究所特別顧問	原田和明	東海総合研究所理事長	木村和明	東京国際大学教授	山下龟次郎	筑波大学附属病院副院長	武者陵司	笛子エスポートラジオ
------	------------	------	-------	------	----------	------	-------------	-----	--------	------	-------	------	---------	------	---------	-------	------	------	---------	-----	-------------	-------	----------------	------	--------	------	--------	------	-------------	------	------------------	-----	----------	------	-----------	----------	---------	------	----------	------	----------	-----	--------------	------	----------	------	--------------	------	-------------	------	--------------	------	------------	------	-------	------	---------	------	---------	------	---------	------	----------	-------------	------	------------	------	----------	-------	-------------	------	------------

講演会の主な講師（講演時役職）（敬称略）

川崎真一郎	第一生命経済研究所 元防衛厅長官 衆議院議員	金子一義 国務大臣 元経済産業省 経済産業政策局長	中谷元 主任研究員 東京大学教授	林良造 元経済産業省 経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授	高木新一郎 伊藤達也 千葉商科大学教授	者藤精一郎 千葉商科大学教授 産業再生委員長	佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 社会経学者 工コノミスト	元三井商事㈱本部長 サウザイ石油化学㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 元モスクワ支局員 NHK解説委員	山田伸二 NHK解説主幹
川崎真一郎	第一生命経済研究所 元防衛厅長官 衆議院議員	金子一義 国務大臣 元経済産業省 経済産業政策局長	中谷元 主任研究員 東京大学教授	林良造 元経済産業省 経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授	高木新一郎 伊藤達也 千葉商科大学教授	者藤精一郎 千葉商科大学教授 産業再生委員長	佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 社会経学者 工コノミスト	元三井商事㈱本部長 サウザイ石油化学㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 元モスクワ支局員 NHK解説委員	山田伸二 NHK解説主幹
川崎真一郎	第一生命経済研究所 元防衛厅長官 衆議院議員	金子一義 国務大臣 元経済産業省 経済産業政策局長	中谷元 主任研究員 東京大学教授	林良造 元経済産業省 経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授	高木新一郎 伊藤達也 千葉商科大学教授	者藤精一郎 千葉商科大学教授 産業再生委員長	佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 社会経学者 工コノミスト	元三井商事㈱本部長 サウザイ石油化学㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 元モスクワ支局員 NHK解説委員	山田伸二 NHK解説主幹
川崎真一郎	第一生命経済研究所 元防衛厅長官 衆議院議員	金子一義 国務大臣 元経済産業省 経済産業政策局長	中谷元 主任研究員 東京大学教授	林良造 元経済産業省 経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授	高木新一郎 伊藤達也 千葉商科大学教授	者藤精一郎 千葉商科大学教授 産業再生委員長	佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 社会経学者 工コノミスト	元三井商事㈱本部長 サウザイ石油化学㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 元モスクワ支局員 NHK解説委員	山田伸二 NHK解説主幹
川崎真一郎	第一生命経済研究所 元防衛厅長官 衆議院議員	金子一義 国務大臣 元経済産業省 経済産業政策局長	中谷元 主任研究員 東京大学教授	林良造 元経済産業省 経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授	高木新一郎 伊藤達也 千葉商科大学教授	者藤精一郎 千葉商科大学教授 産業再生委員長	佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 社会経学者 工コノミスト	元三井商事㈱本部長 サウザイ石油化学㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 元モスクワ支局員 NHK解説委員	山田伸二 NHK解説主幹